

Dive Computer

SENSOR

取扱説明書



ご使用にあたって、まず以下のことをご注意ください。

重大な注意

★ご使用前に本取扱い説明書（以下本書）をすべてお読みください。本書内の操作方法や警告、注意事項を守らないと、重大な障害あるいは生命に危険を及ぼす可能性があります。

★本書は、本製品と一緒に保管および携帯してください。

★不明点がありましたら、お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまでお問い合わせください。

本書では、Sensorを本製品と表示しています。

本書で使われているマークについて

本書では、本製品の操作や機能を十分に理解していただくために、以下のような表示を使用しています。特に注意してお読みください。

注意！



●ダイビングを安全に行い、かつ危険な状況を早期に回避するために、注意すべき情報や特徴を明記しています。

危険！



●危険な状況を知らせる警告です。これを無視した場合、生命に関わる危険な状況に陥る可能性があります。この警告には必ず従ってください。

注目！



●覚えておくと役立つワンポイントを紹介しています。

陸上でのスイッチ操作

4つのスイッチの役割を覚えると、効率的に操作ができます。

※各スイッチのより詳しい説明がP20にあります。



※本製品には「MODE」と記されていますが、本書では「Bスイッチ」と表記しています。

必ずお守りください！

【ご使用にあたっての厳守事項】

1. ダイビングCカード取得者以外の使用は禁止されています。

・本製品を水中で使用できるのは、世界的に認定されたダイビング指導団体による、少なくともベーシックのオープンウォーターダイビングトレーニングを受講し、同時にダイビングによるリスクを十分理解した、認定されたダイビング指導団体による認定書(Cカード)を取得したダイバーでなくてはなりません。

2. 本製品はEANx / TECダイビング(3Gas*を含む)に対応しています。本製品をEANx / TECダイビングに使用する場合は、酸素99%までのEANx / TECダイビングに必要な、十分なトレーニングを一般的に認められている指導団体のインストラクターから受けなくてはなりません。

・本製品はタンク内の FO_2 （酸素比率）を設定することでEANx / TECダイビングにも使用可能です。ただし、酸素99%までのEANxを使うダイビングのトレーニングを行っているダイビング指導団体による、酸素99%までのガスを使うEANx / TECダイビングのトレーニングを修了していることが条件となります。自分が受けたトレーニングの範囲内の酸素%を使うEANx / TECダイビングをしなければなりません。 PO_2 （酸素分圧）、 FO_2 （酸素比率）の設定は注意深く行って下さい。

※3Gas: 1ダイブで、異なったEANxのタンクを3本まで設定可能。



TEC（テクニカル）ダイビング：深度40mを超えるディープダイビング、ケーブダイビング、目的に応じた深度にてGasタンク交換を行うなど、レクリエーションダイビングとは異なるダイビング。TEC（テクニカル）ダイビングのトレーニングを受け認定される必要があります。



EANx：Enriched Air Nitrox. エンリッチドエア・ナイトロックス。通常使用するAIR（酸素比率21%:圧縮空気）より、酸素の比率が高いGasです。本製品は酸素比率21～99%のEANxに対応しています。本書ではEANxと表示します。

3. EANx/TECダイビング時にユーザーが誤った酸素比率を設定したことによる事故は自己責任となります。
4. この取扱い説明書と、本製品に関する警告や注意をすべて読んでください。
・本製品の操作を誤ると、重大な障害や生命に危険を及ぼす事態すら招いてしまうことがあります。限られた項目だけを選んで読むことは、重要な情報を見落としてしまうことになります。リスクを最小限にするために、この取扱い説明書すべてを理解するまで読まなくてはなりません。
5. 本製品を、本格的な自然環境で使用する前に、プールなどの限定水域で使い方をマスターするまで練習しなくてはなりません。
6. スキューバダイビングへ出かける前に、本製品を点検しなくてはなりません。また、異常がある場合は使用してはいけません。
・各部を点検し、異常がある場合は、本製品を購入したプロショップを通し、SCUBAPRO eサポートTECセンターまで点検、修理に出してください。
7. 本製品の警告マーク、注意メッセージなどには直ちに従ってください。
8. お客様自身で本製品の分解、修理、改造、圧力センサーの調整をしてはいけません。
・適切な知識がなく、本製品の分解、修理、改造、調整を行うと、本製品の故障の原因となり、事故や生命に危険を及ぼす可能性があります。
9. 使用頻度に関わらず、毎年1回の点検をしなければなりません。
・1年に1度、または3ヶ月以上使用していない場合は、使用前にプロショップを通してSCUBAPRO eサポートTECセンターで点検をしてからご使用ください。
10. 本製品の取扱いや保管には十分な注意を払わなければなりません。P.109の「取扱い上の注意」を必ず読まなくてはなりません。



- 直射日光が当たる場所、高熱や低温状態での保管は避け、乾燥した風通しの良い涼しいところに保管してください。
- 使用後は必ず真水で洗ってください。ただし長時間水の中に放置すると、バッテリーの寿命が短くなりますのでご注意ください。

必ずお守りください！

【ご使用にあたっての危険事項】

本製品を使う前に、安全なダイビングのために、以下の項目を遵守しなければなりません。遵守しないと事故や生命に危険を及ぼすことがあります。

1. 本製品は一般的なAIR（酸素比率21%：圧縮空気）を使用したレクリエーションダイビングと、EANx／TECダイビング用に開発されています。その他の目的のために使用してはいけません。
・水中作業などを行う職業ダイバー向けのダイブコンピュータではありません。
2. 本製品は酸素比率21%のAIR（圧縮空気）と酸素比率22～99%のEANx／TECダイビング用です。他のGasでは使用できません。
3. EANx／TECダイビング前に、毎回必ずダイビング前に使用するGasのFO₂（酸素比率）の設定をしなくてはなりません。2本目も同じFO₂（酸素比率）で潜る場合も、必ずダイビング前にFO₂（酸素比率）を設定しなければいけません。
・誤ったFO₂（酸素比率）の設定は不十分な減圧スケジュールとなったり、酸素の有害度を低めに演算することになり、非常に危険です。必ず毎回、ダイビングを行う前にFO₂（酸素比率）をセットし、誤った設定では決して潜ってはいけません。
4. 本製品は、健康で平均的な体力を持った人を基準に設計しています。
・本製品の設計基準は、一般の健康で平均的な体力を持った人です。個々のダイバーは必ず自分にあった安全なダイビングの計画と遂行を、責任を持って行わなければなりません。

5. 本製品は個人で単独に使用することを前提に設計しています。
- ・他のダイバーに貸す場合は、完全に初期状態になっているもの（DESAT（体内窒素排出時間）、N₂（体内窒素量）バーグラフ、O₂/OLI（体内酸素／酸素限界）バーグラフが0）に限ります。反復潜水時は絶対に貸してはいけません。
6. 本製品は、減圧症などの疾患を予防できません。
7. 本製品は、タンク内の残圧などを計測、表示、管理しません。従って自分で残圧計を用意し、必ずチェックしなければいけません。
8. 余裕をもったダイビングを行い、減圧停止、浮上スピード、安全停止を守らないといけません。
- ・減圧停止の表示が出た場合は、表示された時間よりも長めの停止をお勧めします。その時、タンク内の残圧も確認しなければいけません。
 - ・無減圧ダイビングでも深度10m以上のダイビングをした場合、深度6mで約3分の安全のための停止をしてください。
9. 本製品のバックアップツールとして、ダイブテーブル、バックアップ用の水深計、ダイバーズウォッチ、ダイブコンピュータなどを併用してください。
10. 本製品の示す情報を定期的にチェックし、あなたのダイブプランと比較しなくてははいけません。
11. PO₂（酸素分圧）警告、O₂/OLI（体内酸素／酸素限界）の警告に従わなくてははいけません。
- EANxでのダイビングは、酸素中毒による人体への影響を考えなくてはなりません。設定した酸素比率に対する潜水可能な最大深度と、その範囲内での各深度における滞在時間により、酸素による影響は変わってきます。
 - 使用するEANx中の酸素の割合が高ければ高いほど、最大酸素分圧に達するダイビング深度（MOD：最大行動可能深度）は浅くなります。PO₂が最大になる深度をMOD（最大行動可能深度）と呼びます。FO₂（酸素比率）を設定した時、本製品はPO₂の限界設定となるMODを表示します。
 - 酸素に対する個人の耐性は、人によって、また、同じ人でも、日やその時の状態によって違います。EANx／TECダイビングをする場合は、酸素中毒その他のリスクを知り、自分の責任でダイビングを行って下さい。

- 酸素中毒(中枢神経系の)は、何の徴候もなく突然発症することもあります。高酸素濃度のEANxでのダイビングは、特に酸素中毒(中枢神経系の)に注意して、十分な知識を持ちトレーニングを受けて行わなければなりません。
- PO₂ (酸素分圧)、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) の警告が発せられた場合、直ちに安全な深度まで移動しなくてはなりません。警告を守らずにその深度に停留し続けることは、非常に危険です。警告が発せられる、あるいは警告を守らないダイビングは絶対に避けなければなりません。

12. 本製品はダイビング終了後も高度ランクに応じ、自動的に減圧の演算を行います。ダイビング終了後の急激な高度変化は危険です。大きく高度ランクが変わるような移動は絶対に避けてください。

13. 飛行機搭乗にご注意ください。

- ・ 1日2本以上のスキューバダイビングを2日以上続けて行った場合や、減圧停止が要求されたダイビングを行った場合、飛行機に搭乗できるまでの時間を「TO FLY」マークとともに表示しますが、最低24時間、可能なら48時間は飛行機への搭乗を避けてください。

14. 減圧停止を無視して浮上した場合、48時間以内にダイビングができないように設定されたロック機能を持っています。

ロック状態では減圧に関する情報は提供しません。絶対にダイビングをしないでください。これが守られない場合、生命に危険を及ぼすことになり、最悪の場合には死亡することもあります。

15. 本製品は手首に装着してください。

本製品は精密電子機器ですので、衝撃により内部基板、回路等が破損してしまうことがあります。必ず手首に装着して使用してください。手首以外、たとえばB.C.などに装着したり、その他の衝撃を受けたことで生じたと思われる損傷については、保証の対象外となります。

16. 装着時の注意。

- ・装着、脱着時に落とさないように注意してください。破損や紛失防止のため、正しく装着できたか、必ず確認してください。
- ・ダイビングスーツによっては、水圧がかかると生地が厚みが減少するものがあります。このような場合には落ちないようにベルト止めの位置を調整してください。

17. アレルギーの方や皮膚の弱い方へ。

- ・肌に直接装着した場合、皮膚の弱い方やアレルギーの方はまれにかぶれることがあります。その場合は使用を中止し、皮膚科にご相談ください。



【保管時の注意】

- 極端な衝撃（高所からの落下など）や、荷重（タンクの下敷きなど）を与えないでください。
- 熱湯をかけないでください。圧力センサーの破損につながります。急激な温度変化を加えると故障する可能性があります。
- ブローガンでエアを圧力センサー部（本体ケース裏のリセットスイッチ（RESET）の右下部）に当てないでください。圧力センサーが破損する可能性があります。
- 万一、異常の疑いがある場合は、ご購入のプロショップを通しSCUBAPRO eサポートTECセンターまで点検に出してください。

目次

ご使用にあたっての厳守事項	6
ご使用にあたっての危険事項	8
本製品の特長	14

I. 取扱い説明書のヒント 17

1. 取扱い説明書の構成/スリープモード	18
2. スイッチの役割/スリープモード	20
3. 本書内のマーク表示	21
4. 画面マークの意味	22

II. タイムモード 25

1. 現在時刻の表示…メイン画面	26
1-1. 基本の表示	26
1-2. テキストウィンドウの表示変更	27
1-3. 水面休息時の表示	28

III. コンパスモード 31

1. コンパスモードを表示する	32
1-1. 陸上の場合	32
1-2. ダイビング中の場合	32
2. コンパスナビゲーションをする	33
3. コンパスをキャリブレーション(調整)する	34

IV. ダイブセットモード 37

1. ダイブセットモードとは	38
2. DIVE、GAGE 各モードの設定	38
3. Tank1~3のPO ₂ (酸素分圧)、FO ₂ (酸素比率)の設定	39
4. デプス(深度)アラームの設定	41
5. ダイブタイムアラームの設定	42

6. ディープストップの設定	43
7. 海水/淡水の設定	43
8. プロファイルの間隔(プロファイルタイム: Pt)の設定	44
9. セイフティファクタ(USF)の設定	45

V. プランモード 47

1. プランモード	48
2. EANxのプラン	50

VI. ログモード 53

1. ログモード	54
1-1. 3ページ表示	54
1-2. ログに残る警告	57

VII. プロファイルモード/ヒストリーモード 59

1. プロファイルモード	60
1-1. プロファイルモードとは	60
1-2. プロファイルの選び方	61
2. ヒストリーモード	62

VIII. PC(Windows)とのデータ転送 65

1. PC(Windows)へデータ転送をするための、オプション	66
1-1. PCインターフェイスユニット(センサー専用・別売)	66
1-2. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」	66
2. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で、できること	67
2-1. ダイブデータの保存、管理、閲覧	67
2-2. ユーザーテキストの文書作成	67
3. PC(Windows)とのデータ転送のやり方	68
3-1. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」を立ち上げておく	68

3-2. PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）を PCに接続	68
3-3. 本製品をPC転送モードにする	68
3-4. 本製品をPCインターフェイスユニット （センサー専用・別売）にセット	69
3-5. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」に データを転送する	70

IX. タイムセットモード71

1. タイムセットモードとは	72
2. 各種設定方法	74

X. ダイブモード79

1. ダイビング時の表示（ダイブモード）	80
2. ダイビング中に、他の画面を表示させる	81
3. メイン画面とサブ画面	82
4. ブックマーク	84
5. セイフティストップ	85
6. 減圧ダイビング	86
6-1. 減圧ダイビング時の表示	86
6-2. N_2 （体内窒素量）バググラフ活用法	87
7. ディープストップ時の表示	88
8. ダイビング中の警告	89
8-1. 浮上スピード警告	89
8-2. 無限圧限界時間警告	89
8-3. 減圧ダイビング警告	90
8-4. 減圧停止指示違反警告	90
8-5. 計測範囲外警告	92
9. 水面休息時の表示	93

XI. EANx／TECダイビング95

1. EANx マークの表示	96
2. FO_2 のデフォルト警告機能	97
3. EANx／TECダイビング時の表示&画面切り替え	98
4. タンクGas交換	99
5. EANx／TECダイビング時の警告	100
5-1. PO_2 （酸素分圧）警告	100
5-2. O_2 ／ OLI （体内酸素／酸素限界）警告	102

XII. GAGEモードでのダイビング105

1. GAGEモード	106
1-1. GAGEモードとは	106
1-2. GAGEモードの各種設定	107
1-3. GAGEモードでのダイビング	108

XIII. 取扱い上の注意、保証について109

1. トラブルシューティング	110
2. 取扱い上の注意	112
2-1. バッテリーについて	112
2-2. システムリセットをかけた場合	112
2-3. 使用前後のお手入れ	113
2-4. 保管	114
3. 製品概要	115
4. 保証について	117
4-1. 保証とは	117
4-2. 保証範囲	117
4-3. 保証期間	117
5. 安全のための注意事項	118

■本製品の特長

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を活用し、安全で無理のないダイビングをお楽しみください。

■ディスプレイ上部に、テキストウィンドウを装備

- ・パーソナルなユーザーテキスト情報を1画面最大16字、3画面まで保存することができ、陸上で表示することが可能。
(P67参照)
- ・ダイビング時の警告等をテキストウィンドウ部に表示。
- ・陸上、水中でデジタルコンパスを表示。
- ・ダイビング中&ダイビング後に、潜水深度の変化(プロファイル)をグラフ表示。

■水中での「DIVE」「GAGE」2つのモード設定

演算深度100mまでの「ダイブモード」、深度計測99.9mまでの「ゲージモード」の選択設定可能。

■「高度6,000m」まで、自動高度計測

- ・高度6,000mまで自動計測可能な高性能圧力センサーを搭載
- ・ダイビング終了後、N₂（体内窒素量）バークラフと体内窒素排出時間、TO FLYマークとTO FLY時間（飛行機搭乗が可能になるまでの時間）を表示するので、山越えや飛行機搭乗の指標に利用可能。

■充実のログ、ヒストリー、プロファイル

- ・ログ : 潜水月日、エントリー&エキジット時刻、潜水時間、最大深度、平均深度、最大深度時水温、発した各種警告など、様々なログデータを最大60本分記録。
- ・ヒストリー : トータル潜水時間(999時間59分)、トータル潜水本数(9,999本まで)とこれまでに潜った最大深度を表示。
- ・プロファイル : 10秒・30秒いずれかの間隔ごとの深度変化を示すデブスプロファイルを表示。

■便利なウォッチ機能

時刻、2099年までうるう年や月末の自動認識機能付きフルオートカレンダーなどのウォッチ機能を完備。

■ナビゲーションに役立つコンパス機能

現在の方角を示すデジタルコンパスを装備。水陸対応。

■3Gas対応。AIR（酸素比率21%：圧縮空気）と、22～99%のEANx^{*}で使用可能

■演算プログラム

本製品の演算プログラムはA.A.ビュールマン博士の理論と研究に基づき、C.ランディ・ポラー氏によって開発された演算モデルを使用。5分から473分までのハーフタイム、12の体内組織を考慮。

■淡水／海水選択・設定可能

■PCインターフェイスユニット(センサー専用・別売)&専用ログブック・ソフトウェアを利用して、PCでダイブログブック作成可能

- ・PCインターフェイスユニット(センサー専用・別売)を介して、PCにデータを転送可能。
- ・専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」(SCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトよりダウンロード可能)で、ダイブログブックの作成、データの分析や活用が可能。

■Safety Stop 機能、Deep Stop 機能

■Dive Time Alarm 機能、Depth Alarm機能

■N₂（体内窒素量）バーグラフ、O₂/OLI（体内酸素／酸素限界）バーグラフ

■Safety Factor機能

■ダイブブラン

■100m防水（深度計測（海水の場合）：0～99.9m）

※EANx：Enriched Air Nitrox。ナイトロックス。

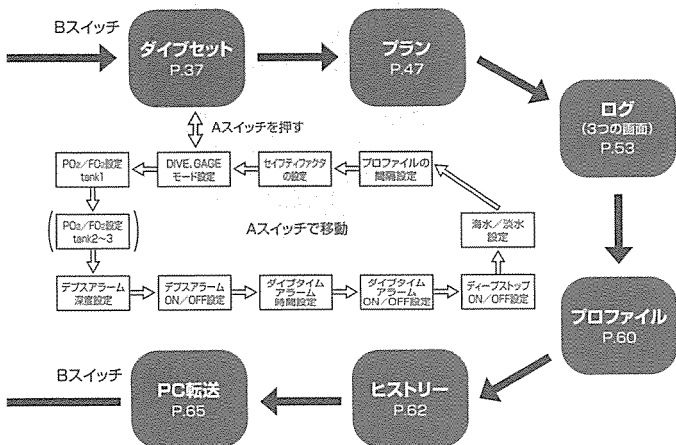
I. 取扱い説明書のヒント

1. 取扱い説明書の構成
2. スイッチの役割
3. 本書内のマーク表示
4. 画面マークの意味

<スリープモード>



- 陸上で操作が5分以上行われない場合、自動的に電源がOffになりスリープモードに入ります。ディスプレイには何の情報も表示されません。
- スリープモード中でもコンピュータは大気圧を計測中で、高度変化が認められた時は、自動的にOnの状態になります。



[1] 本製品の機能モード

タイム

コンパス

ダイブセット

プラン

ログ

プロフィール/ヒストリー

PC転送

タイムセット

ダイブ

EANx/TEC

GAGE

取扱上の注意、保証

[2] ダイビング時の説明

ダイブ……………AIR (酸素比率21%：圧縮空気) でのダイビング

EAN x / TEC ……3Gas*も含めたEAN x / TECダイビング
※1ダイブで、水中で異なったのタンクを交換するダイビング

GAGE……………GAUGE (ゲージ) モードでのダイビング

2. スイッチの役割

1) 各スイッチの役割

小型・多機能ダイブコンピュータウォッチの本製品は効率良い画面表示、機能切り替えのために、4つのスイッチを備えています。各スイッチの役割を覚えると、統合的に操作することが可能になります。



<ELバックライト>

陸上では「A、C」スイッチ。水中では「A、B、C」スイッチを押すと、ELバックライトが4～5秒点灯し、暗いところで表示を見ることができます。

Aスイッチ

●温度／ユーザーテキスト（P27参照）の表示切り替えに使用します。

●モード内において、機能を移動するときに使用します。

Bスイッチ

●9つのモードを移動するときに使用します。

●いつでも長押しで、タイムモードへ戻ります（ダイブモードを除く）。

※本製品には「MODE」と記されていますが、本書では「Bスイッチ」と表記しています。

Cスイッチ

●数値や設定の選択に使用します。

●水中で、長押しでブックマークを設定します。

ダイブスイッチ

●2つのダイブスイッチを濡れた指で同時にさわると、タイムモードへ戻ります。

ダイブスイッチ



<スリープモード>

●陸上で操作が5分以上行われない場合、自動的に電源がOffになりスリープモードに入ります。ディスプレイには何の情報も表示されません。

●スリープモード中でもコンピュータは大気圧を計測中で、高度変化が認められた時は、自動的にOnの状態になります。

3. 本書内のマーク表示

1) スイッチ操作の表記

本書では、特定のスイッチを押す操作を以下のようなマークで表しています。

・押すスイッチ名を該当するスイッチの近くに、押す位置を黒く塗っています。



Aスイッチ
を押す



Bスイッチ[※]
を押す



Cスイッチ
を押す

※本製品には「MODE」と記されていますが、本書では「Bスイッチ」と表記しています。

2) マーク／矢印

●画面の切り替え →

・スイッチを押すと、次の画面に切り替わることを意味します。

●戻る ←

・スイッチを押すと前の画面に切り替わる(戻る)ことを意味します。

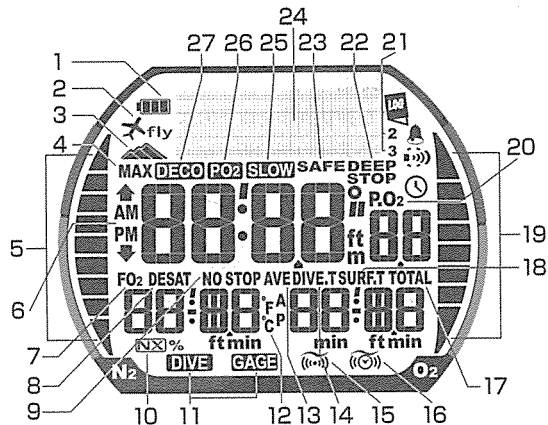
3) マーク

点滅を意味



4. 画面マークの意味

本製品の画面はこのページのように、
様々なマークを表示します。
活用するためには、それぞれの意味を
覚えておく必要があります。



1. バッテリーマーク

: バッテリーマークが点滅すると、ダイブモードに入りません。バッテリーを交換して下さい。

2. TO FLYマークとTO FLY時間

: 体内窒素排出時間を演算しタイムモード時に、飛行機マークと、飛行機搭乗が可能になるまでの時間を表示

3. 高度ランク

: 高度を10分ごとに自動計測。高度ランクマークで表示

4. MAX

: 最大深度を表示

5. N₂ (体内窒素量) バーグラフ

: 現在の体内窒素量を9段階で表すバーグラフ

6. AM/PM

: 12時間表示時に表示。AM: 午前、PM: 午後

7. FO₂

: Fraction of O₂の略。設定されたGASの酸素比率を示すマーク

8. DESAT (体内窒素排出時間)

: Desaturation Timeの略。体内に溶け込んだ窒素を排出するのにかかる時間を表示。0:00まで表示した後、1分後に非表示

9. NO STOP

: 無減圧限界時間を意味。STOPのみの表示は減圧停止を意味

10.

: 点灯: FO₂ (酸素比率) をAIR (酸素比率21%: 圧縮空気) 以外に設定している場合

点滅: FO₂ (酸素比率) をAIR (酸素比率21%: 圧縮空気) に設定している場合を除き、そのダイブ終了後水面休憩時間が10分以上経った場合、またはダイビングを実行しなくても12~13時間経ち再設定を求めるデフォルト (設定なし <--> 表示) になっている

11. 、

: DIVE: DIVEモードの略。ダイブモード設定時に表示

GAGE: GAUGEモードの略。ゲージモード設定時に表示

12. °C

: 水温の単位。摂氏

13. AVE

: Averageの略。平均深度を意味

14. DIVE.T

: Dive Timeの略。潜水時間を意味

15.

: デプス (深度) アラームアイコン。設定した深度に達すると、アラームが鳴る機能をONにしていると、このアイコンが点灯

16.

: ダイブタイムアラームアイコン。設定した潜水時間が経過した時にアラームを鳴らす機能をONにしていると、このアイコンが点灯

17. TOTAL

: 減圧ダイビング時の減圧停止時間を含め、水面に浮上するまでにかかる時間を意味する表示

18. SURF.T

: Surface Timeの略。水面休憩時間を表示

19. O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ

: 現在の体内酸素量を8段階で表すバーグラフ

20. PO₂

: 酸素分圧を意味する表示

21. 2 3

: ダイブログのページNo.を表す表示。 は第1ページ、2は第2ページ、3は第3ページを意味。プロファイルモードでは、ブックマーク設定ポイントで が点灯

22. DEEP STOP

: ディープストップ時に点滅。ディープストップ機能は、深度21m以深に潜り、減圧モードに移行した場合に段階的に表示

23. SAFE STOP

: セーフティストップ（安全停止）時に点滅。3分間のカウントダウン表示

24. テキストウィンドウ

: 温度、ユーザーテキスト、プロフィール、モード名や警告、コンパスを表示

25. **SLOW**

: 適切な浮上スピードよりも速いことを警告

26. **PO2**

: 酸素分圧を警告

27. **DECO**

: Decompressionの略。減圧停止時に表示



- 高度ランクに変化がある場合、N₂（体内窒素量）バーグラフが何も表示されていない時でも、N₂（体内窒素量）バーグラフとDESAT（体内窒素排出時間）が表示されるでしょう。
- 飛行機など急激な気圧変化があるところでは、絶対にダイブスイッチに触れたり濡らさないでください。
- N₂（体内窒素量）バーグラフが7あるいは8ブロックを表示し、体内窒素が多い場合、絶対に高所移動をしてはいけません。

Ⅱ. タイムモード

【現在時刻／12時間・24時間表示】

1. 現在時刻の表示…メイン画面

1-1. 基本の表示

1-2. テキストウィンドウの表示変更

1-3. 水面休息時の表示

1. 現在時刻の表示…メイン画面

- タイムモードの最初の画面。すべての基本となる、本製品のメイン画面です。
- ウォッチとして、現在時刻を表示します。
- Aスイッチを押して、テキストウィンドウをユーザーテキストか温度に切り替えることができます。
- 12時間/24時間表示の切り替えができます(切り替える方法はP76を参照してください)。

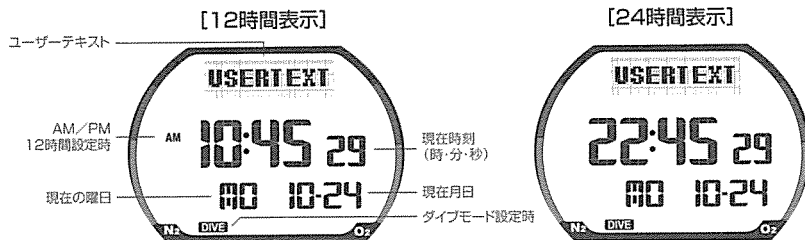
1-1. 基本の表示

現在時刻 : 現在の時刻を時・分・秒で表示(12時間/24時間表示切り替え可能)

AM/PM : 12時間設定時に表示。「AM」は午前を、「PM」は午後を意味。

現在の曜日 : 英語の略語で表示

現在月日 : 現在の日付。月と日を表示。



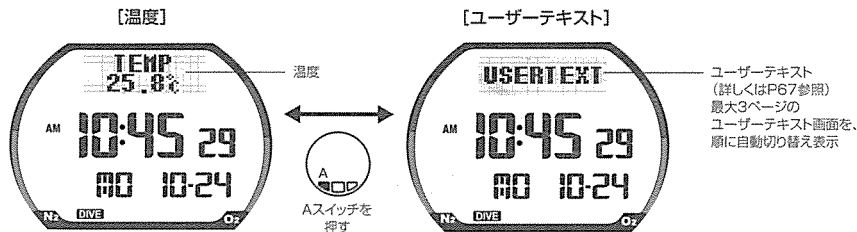
【曜日の英語表記】

MO : Monday 月曜日
TU : Tuesday 火曜日
WE : Wednesday 水曜日

TH : Thursday 木曜日
Fr : Friday 金曜日
SA : Saturday 土曜日
SU : Sunday 日曜日

1-2. テキストウィンドウの表示変更

Aスイッチを押して、テキストウィンドウをユーザーテキストが温度に切り替えることができます。ユーザーテキストの設定はP67～参照。



初期設定は12時間表示です。12時間／24時間表示の切り替えはP76を参照してください。

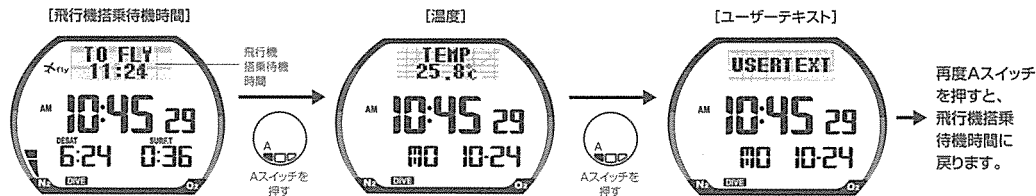


【陸上でのTEMP(温度)表示について】

腕に装着している場合、体温を感知し表示します。現在温度を表示させる場合は、腕からはずししばらく置いてください。※環境温度に順応する時間は季節や場所により異なります。

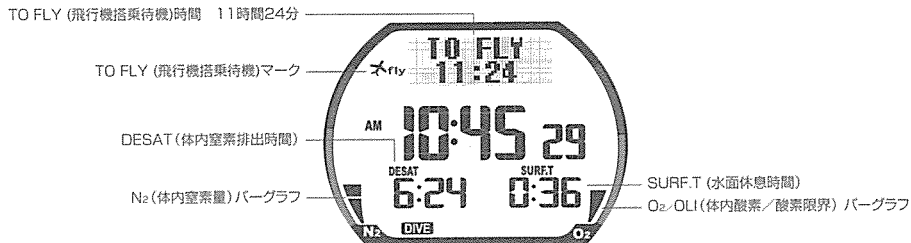
＜ダイビング後で、体内窒素がある場合＞

ダイビング後、体内窒素がある場合は、Aスイッチを押すと飛行機搭乗待機時間、温度、ユーザーテキストのいずれかに変わります。



1-3. 水面休息時の表示

ダイビングを終え水面休息をしている間は、テキストウィンドウに飛行機搭乗待機時間を、曜日表示に替わりDESAT (体内窒素排出時間)、現在日付表示に替わりSURF.T (水面休息時間) を表示します。



TO FLY (飛行機搭乗待機)マーク&時間:

- DESAT (体内窒素排出時間) を演算している間、タイムモードにTO FLYマークとTO FLY時間 (飛行機搭乗が可能になるまでの時間) を表示し、演算が終了すると表示はなくなります。
- DESAT (体内窒素排出時間) が12時間以内の場合: TO FLYは最大12時間からカウントダウンを始めます。
DESAT (体内窒素排出時間) が12時間を超えた場合: TO FLYはDESAT (体内窒素排出時間) と同じ時間をカウントダウンします。

高度ランクマーク:

ダイブモード、PC転送モードを除く全てのモードで高度を10分ごとに自動計測し、次表の高度ランクマークで表示します。高度ランクに対応する具体的な高度は次表を参照してください。

- 高度6,000m以上の場合、高度ランクマークが点滅し、高度が6,000m未満に下がるまでダイブコンピュータは使用できません。また高度6,000m以上の場合、N₂ (体内窒素量) バーグラフ、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ、およびDESAT (体内窒素排出時間) の演算は行われません。しかし水面休息時間は計測を続けています。

- 6,000m以上の時に高度が変化したにもかかわらず、何らかの理由で高度計測ができない場合は、高度ランクマークが点滅します。
- 高度はダイブモードとPCへの転送時を除いた、全モードで計測し、高度ランク1以上からマークを表示します。

高度ランク	マーク	高度範囲
0		0-900m
1		600-1,800m
2		1,500-2,600m
3		2,300-6,000m
エラー		6,000m以上

SURF.T (水面休息時間) :

- Surface Timeの略。水面休息時間を表示。
- 水面休息時間はダイブモードで、深度1.2mより浅い深度に浮上すると、計測を開始します。浮上後10分以内に再度深度1.2m以上深く潜った場合は、同一のダイビングとして計測されます。
- 水面休息時間は最大24時間計測します。水面休息時間は、時・分表示です。

N₂ (体内窒素量) バーグラフ :

- 体内の窒素量を9つのブロックで表示します。このグラフについての詳細はP87を参照してください。

O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ :

- O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) を8段階で表すバーグラフ。このグラフについての詳細はP102~を参照してください。

Ⅲ. コンパスモード

【コンパスを使う／キャリブレーション】

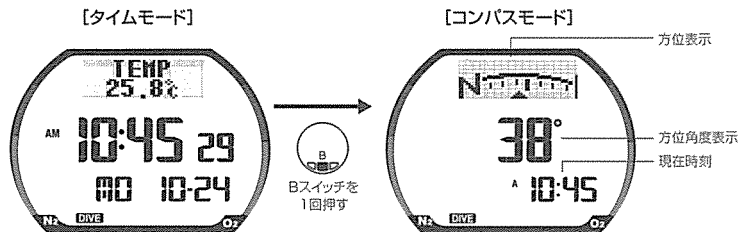
1. コンパスモードを表示する
 - 1-1. 陸上の場合
 - 1-2. ダイビング中の場合
2. コンパスナビゲーションをする
3. コンパスをキャリブレーション（調整）する

1. コンパスモードを表示する

陸上で方角を知ったり、水中でコンパスナビゲーションをするための機能です。

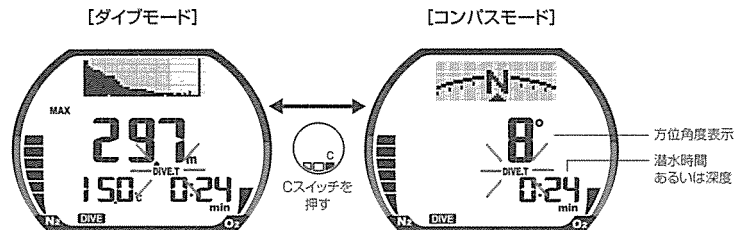
1-1. 陸上の場合（タイムモードからコンパスモードに切り替える）

- タイムモードからBスイッチを1回押すと、コンパスモードに切り替わります。
- コンパスモードからBスイッチを1回押すと、ダイブセットモードに進みます。



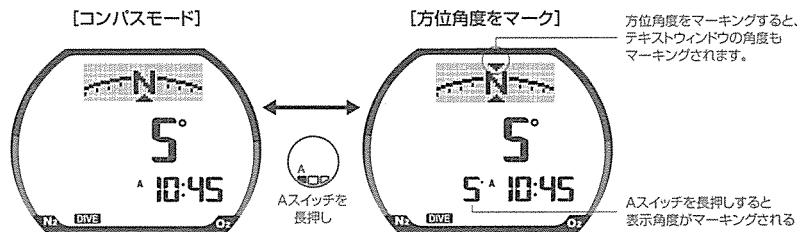
1-2. ダイビング中の場合（ダイブモードからコンパスモードに切り替える）

- Cスイッチを押すとダイブモードからコンパスモードへ画面が切り替わります。
- コンパスモード表示時にBスイッチを押すと、方位角度の下部に、潜水時間あるいは深度の切り替え表示が可能です。



2. コンパスナビゲーションをする

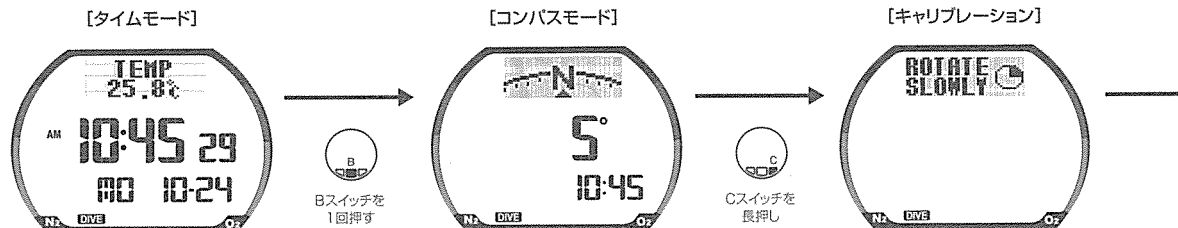
- コンパスモード時、Aスイッチを長押しすると、表示されている方位角度をマーキング・メモリーすることができ、テキストウィンドウと画面左下に表示します。
- Aスイッチを再度、長押しするとマーキングした方位角度はリセットされます。



コンパスを使用する場合は、地面（地表）と水平にして使用してください。傾けたり斜めにする
と、正しい角度を計測・表示できません。

3. コンパスをキャリブレーション(調整)する

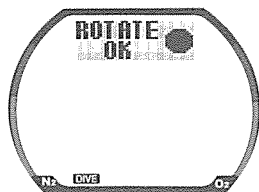
- コンパスの電子回路を調整するモードです。
- コンパスをより正しくに表示するために、使用前に必ず陸上でこの作業を行って下さい。



タイムモードからBスイッチを1度押し、コンパスモードへ移動します。

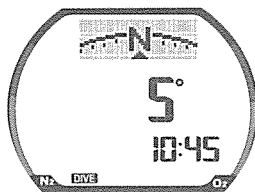
- コンパスモードからCスイッチを長押ししてキャリブレーションへ移動します。
- テキストウィンドウには<ROTATE SLOWLY>と、円が表示されます。
- 本製品を水平状態に保ったまま、ゆっくりと2回転します。45度単位で円内がマークされます。

[キャリブレーション完了]



テキストウィンドウに<ROTATE OK>と、円のマークが完全に黒く塗りつぶされて表示します。

[コンパスモード]



- Cスイッチを長押しすると、コンパスモードが表示されます。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

IV. ダイブセットモード

【ダイビングのための様々な設定】

1. ダイブセットモードとは
2. DIVE、GAGE 各モードの設定
3. Tank 1～3の PO_2 （酸素分圧）、 FO_2 （酸素比率）の設定
4. デブス（深度）アラームの設定
5. ダイブタイムアラームの設定
6. ディープストップの設定
7. 海水/淡水の設定
8. プロファイルの間隔（プロファイルタイム：Pt）の設定
9. セイフティファクタ（USF）の設定

1. ダイブセットモードとは

ダイビングのための各種設定をするモードです。Aスイッチで順に移動をしながら説明します。

- ダイブセットモードから各設定へ移動……Aスイッチ
- 各設定内の選択……Cスイッチ。押し続けると早送り

2. DIVE、GAGE 各モードの設定

本製品は、DIVE、GAGEの各モードで使用できます。

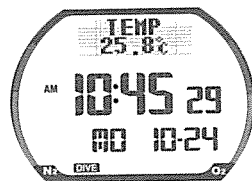
スキューバダイビングで使用する場合は、必ずDIVEモードに設定してください。※初期設定はDIVEモードです。



DIVE : DIVEモードの略。ダイブモード時に表示。

GAGE : GAUGEモードの略。ゲージモード時に表示。

【タイムモード】

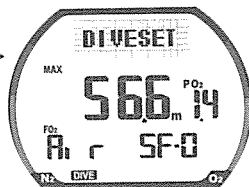


タイムモードから、Bスイッチを2度押しでダイブセットモードへ移行します。



Bスイッチを
2回押す

1.【ダイブセットモード】

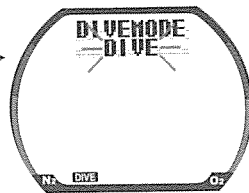


Aスイッチを押すと設定画面へ移行し、1番目の画面、DIVE、GAGE各モードの設定画面（次画面）が表示されます。



Aスイッチを
押す

2.【DIVE、GAGE
各モードの設定画面】



テキストウィンドウに、ダイブモードを意味する<DIVE>、ゲージモードを意味する<GAGE>が点滅表示されるので、Cスイッチで選択します。



Aスイッチを
押す



GAGEモードでは、深度計測、水温計測、潜水時間計測のみ機能します。

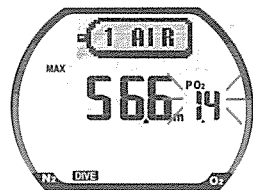
無限圧限界時間や減圧停止等について、N₂（体内窒素量）、O₂/OLI（体内酸素／酸素限界）などの演算も行われません。GAGEモードの詳細はP105～をご参照ください。

3. Tank 1～3のPO₂（酸素分圧）、FO₂（酸素比率）の設定

本製品はFO₂（酸素比率）が21%（AIR：圧縮空気）の他、22～99%のEANxで使用可能です。

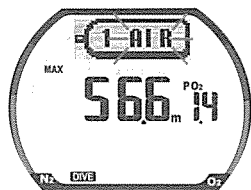
- Tank 1～3のPO₂（酸素分圧）とFO₂（酸素比率）を設定できます。Tank 1～3それぞれ、PO₂（酸素分圧）を0.1単位で設定後、使用するGasのFO₂（酸素比率）を1%単位で設定します。
- 同時に設定画面では、設定したPO₂（酸素分圧）とFO₂（酸素比率）値での潜水可能最大深度（MOD：最大行動可能深度）を表示します。

3. [Tank 1:PO₂（酸素分圧）設定]



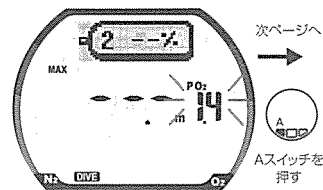
次にAスイッチを押すと、Tank 1のPO₂へと移動します。点滅表示するPO₂をCスイッチで設定します。そのPO₂値でのダイビング可能な最大深度が中央に表示されます。

3. [Tank 1:FO₂（酸素比率）設定]



Aスイッチを押すと、上部にあるタンクのイラスト内のFO₂値が点滅表示されます。FO₂が21%の場合は、AIRと表示されます。Cスイッチで、FO₂値を設定します。

3. [Tank 2:PO₂（酸素分圧）設定]



Aスイッチを押し、Tank 2の設定へと移動し、Cスイッチで、PO₂値を設定します。タンクのイラスト内の数値<1>は1本目、<2>は2本目を意味します。

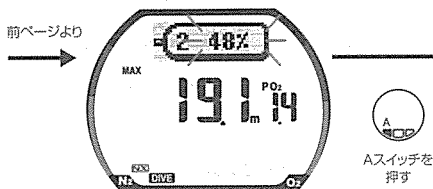


- FO₂ (酸素比率) の初期設定はAIR (21% : 圧縮空気) です。
- FO₂ (酸素比率) をAIR (酸素比率21% : 圧縮空気) に設定している場合を除き、そのダイブ終了後水面休息時間が10分以上経った場合、またはダイビングを実行しなくても、FO₂ (酸素比率) は12~13時間で再設定を求めるデフォルト(設定なし<--->表示)になります。
- 水中でFO₂の設定はできません。



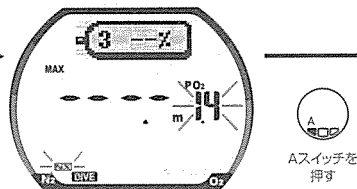
- Tank2を設定しない場合は、Tank3の設定画面は表示されません。デプス(深度)アラームの深度設定へと進みます。
- Tank2、Tank3を設定しても、ダイビングをしない場合は、12~13時間後にデフォルト(設定なし<--->表示)になります。

3. [Tank2:FO₂ (酸素比率) 設定]



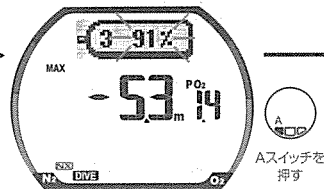
AスイッチでTank2のFO₂値設定へと移動し、CスイッチでFO₂値を設定します。

3. [Tank3:PO₂ (酸素分圧) 設定]



AスイッチでTank3のPO₂値設定へと移動し、CスイッチでPO₂値を設定します。

3. [Tank3:FO₂ (酸素比率) 設定]



AスイッチでTank3のFO₂値設定へと移動し、CスイッチでFO₂値を設定します。

4. デプス(深度)アラームの設定

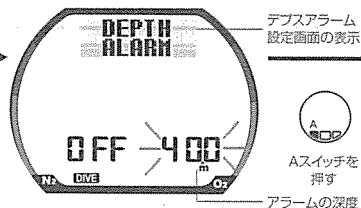
設定した深度に達するとアラームを鳴らす機能です。2mから99.0mの間、1m単位で設定できます。

[デプス(深度)アラームの初期設定・ON/OFF]



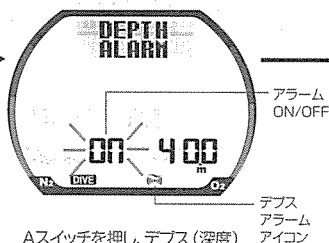
- デプスアラームの初期設定は、＜深度40m OFF＞です。
- 設定画面で＜OFF＞が表示されている場合、デプスアラームの深度を変更すると、自動的に＜ON＞に変わります。右下にはデプスアラームアイコンが表示されます。

4. [デプス(深度)アラームの深度設定]



Aスイッチを押し、デプス(深度)アラーム設定画面へ移動。アラームを鳴らす深度が点滅表示されます。Cスイッチで(押し続けると早送り)、希望の深度を選択します。

4. [デプス(深度)アラームのON/OFF設定]



Aスイッチを押し、デプス(深度)アラームON/OFF設定画面へ移動。Cスイッチで選択します。ONの時は画面右下に＜ON＞が表示されます。

次ページへ



5. ダイブタイムアラームの設定

設定した潜水時間が経過した時にアラームを鳴らす機能です。アラームの時刻を1分から9時間59分の間で1分間隔で設定できます。

[ダイブタイムアラームの初期設定・ON/OFF]



- ダイブタイムアラームの初期設定は、<30分 OFF>です。
- 設定画面で<OFF>が表示されてる場合、ダイブタイムアラームの深度を変更すると、自動的に<ON>に変わります。右下にはダイブタイムアラームアイコンが表示されます。

5. [ダイブタイムアラームの時間設定]

前ページより



ダイブタイムアラーム
設定画面の表示

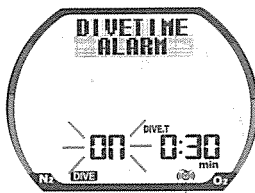


Aスイッチを
押す

アラームを鳴らす潜水経過時間

Aスイッチで、ダイブタイムアラーム設定画面へ移動。アラームを鳴らす潜水経過時間が点滅表示されるので、Cスイッチで(押し続けると早送り)、希望の時刻を選択します。

5. [ダイブタイムアラームのON/OFF設定]



Aスイッチを
押す

ダイブタイムアラームアイコン

Aスイッチを押し、ダイブタイムアラームON/OFF設定画面へ移動。Cスイッチで選択します。ONの時は画面右下に<ON>が表示されます。

6. ディープストップの設定

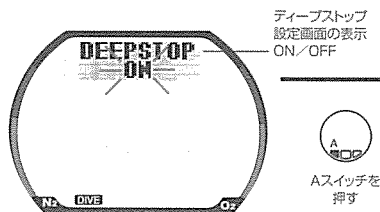
ディープストップは、最深の減圧停止深度より深い深度での停止を推奨するものです。最も深い減圧停止深度よりも深場で停止することで、より高い安全を得られるでしょう。本製品は21m水深で1分間のディープストップON/設定せず(OFF)の設定ができます。※初期設定は<ON>です。

7. 海水/淡水の設定

水質のタイプを海水<SEA>と淡水<FRESH>から選択できます。

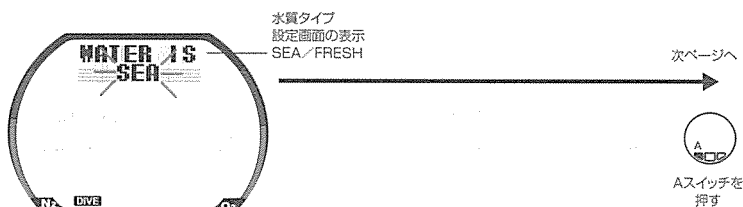
※初期設定は海水<SEA>です。

6. [ディープストップの設定]



Aスイッチでディープストップ設定へ移動。テキストウィンドウに、ディープストップを鳴らす<ON>あるいは、鳴らさない<OFF>が点滅表示されます。Cスイッチで選択します。

7. [海水/淡水の設定]



Aスイッチで海水/淡水の設定へ移動。テキストウィンドウに、海水<SEA>あるいは淡水<FRESH>が点滅表示されます。Cスイッチで選択します。

8. プロファイルの間隔 (プロファイルタイム : Pt) の設定

深度データを計測する間隔・プロファイルタイム (Pt) を30秒ごと、あるいは10秒ごとに設定変更できます。

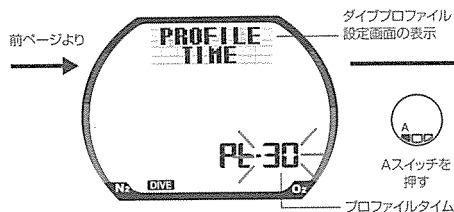
※プロファイルタイムにより、バッテリーの消耗度が異なります。

※初期設定は30秒ごと (Pt30) です。



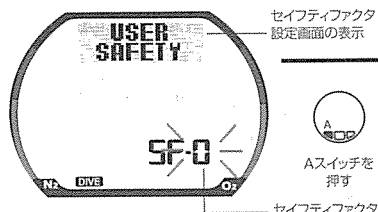
Pt10に設定すると間隔は10秒になり、より詳細なダイブプロファイルを記録することができます。しかし記録できるダイブログ本数は約1/3に減少します。

8. [プロファイルタイム設定]



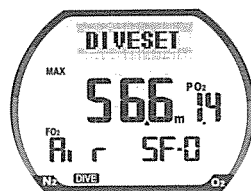
Aスイッチでプロファイルタイム設定へ移動。プロファイルタイムを10秒<Pt10>あるいは30秒<Pt30>から、Cスイッチで選択します。

9. [セーフティファクタ (0~2) 設定]



Aスイッチでセーフティファクタ設定へ移動。Cスイッチを押して通常の減圧スケジュールである<SF-0>、あるいは<SF-1><SF-2>のいずれかをセットします。

[ダイブセットモード]



- Aスイッチを押してダイブセットモードへ戻ります。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

9. セイフティファクタ (USF) の設定

本製品は、減圧スケジュールを選択できるセイフティファクタ (USF) 機能を搭載しています。

- 数値が大きくなるほど保守的になります。
- 通常の減圧スケジュール (SF-0) よりも保守的な減圧スケジュール (SF-1 か SF-2) で潜りたい時は、ダイビング前にセイフティファクタを SF-1 か SF-2 に変更します。その後、変更するまでセイフティファクタは有効で、ダイブプラン、ダイビング中はもちろん、ダイビング後の演算まで影響します。
- SF-0 の場合、通常の演算 (アルゴリズム) が使用されます。SF-1 あるいは SF-2 の場合、次の高度ランク (高度ランク1、高度ランク2) を演算に使用します。

※初期設定はSF-0です。



- セイフティファクタはより安全なダイビングへの配慮であって、体調不良時のダイビングを推奨するものではありません。

V. プランモード

[ダイビング計画を立てる]

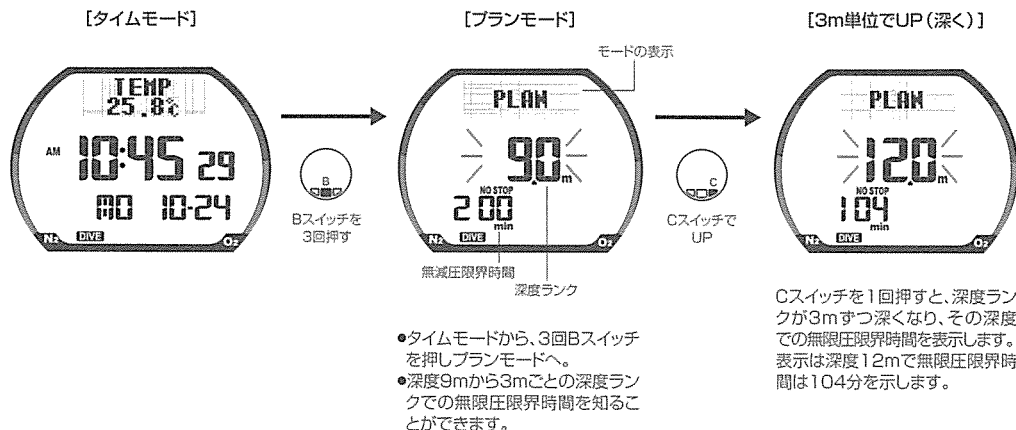
1. プランモード
2. EANxのプラン

1. プランモード

ダイビングの計画を立てるためのモードです。深度9mから3mごとの深度ランクで、それぞれ無減圧限界時間を表示します。初回ダイビングはもちろん、反復潜水やEANx時、セーフティファクタ設定時ダイビングにも対応しています。

【表示の意味】

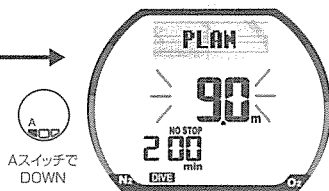
- NO STOP：無減圧限界時間。減圧することなく、その深度に留まれる時間。最大200分まで表示します。
- 深度ランク：深度9mから48mまで3mごとに表示します。
 - Cスイッチを押すと、深度ランクが3m単位でUP
 - Aスイッチを押すと、深度ランクが3m単位でDOWN





- 安全のため、表示されている無減圧限界時間よりも余裕のあるダイブプランを立ててください。
- 無限圧限界時間がない場合は、<--->になります。

【3m単位でDOWN(浅く)】



Aスイッチを1回押すと、深度ランクが3mずつ浅くなり、その深度での無限圧限界時間を表示します。表示は深度9mで無限圧限界時間は200分以上を示します。

- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

2. EANxのプラン

本製品はFO₂ (酸素比率) がAIR (21%: 圧縮空気) の他、22~99%のEANxで使用可能です。

プランを表示させたいFO₂ (酸素比率) を設定した後に、ダイブプランを起動させればその設定したFO₂値で深度9mから3mごとに設定されたPO₂最大値の範囲の無限圧限界時間を表示し、AIRとEANxを交えた反復潜水にも対応します。

※FO₂設定はP39~を参照してください。

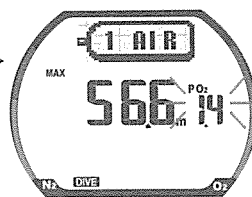


- 出荷時のFO₂はAIR (酸素比率21%: 圧縮空気) でのダイビングに設定してあります。
- EAN x ダイビングを行う場合、1ダイビングごとに、必ずFO₂を設定しなくてはなりません。
- 水中でFO₂の設定はできません。

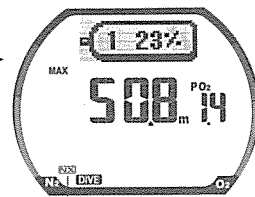
【ダイブモード設定画面】



【FO₂ (酸素比率) 設定画面1】
PO₂と最大行動可能深度の確認



【FO₂ (酸素比率) 設定画面2】
FO₂ (酸素比率) の設定



NXマーク

タイムモードからBスイッチを2度押しダイブセットモードへ。さらにAスイッチを押してダイブモード設定画面に移動し<DIVE>を選択。そしてAスイッチを押して、FO₂ (酸素比率) 設定画面へと移動します。

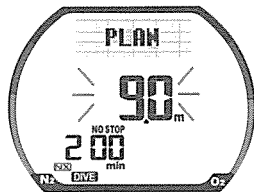
- FO₂ (酸素比率) 値設定画面でははじめにPO₂の値が点滅表示されます。そのPO₂ (酸素分圧) 値でのダイビング可能な最大深度 (MOD: 最大行動可能深度) が中央に表示されます。
- Cスイッチを押すとPO₂の値がUPするので、それに対応した最大深度が確認できます。

Aスイッチを押すと、上部にあるタンクのイラスト内のFO₂ (酸素比率) 値が点滅表示されます。FO₂ (酸素比率) が21%の場合は、AIRと表示されます。Cスイッチ (UP) で、FO₂ (酸素比率) 値を設定します。FO₂を22%~99%に設定した時、画面の左下に<NX>マークが点灯します。



- 出荷時の FO_2 （酸素比率）はAIRに設定してあります。
- FO_2 （酸素比率）をAIR（酸素比率21%：圧縮空気）に設定している場合を除き、そのダイブ終了後水面休息時間が10分以上経った場合、またはダイビングを実行しなくても、 FO_2 （酸素比率）は12～13時間で再設定を求めるデフォルト（設定なし<--->表示）になります。
- 水中で FO_2 （酸素比率）の設定はできません。

【プランモード】へ



- FO_2 確定後、Bスイッチを押すとプランモードへ移行します。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

VI. ログモード

【詳しくログを見る】

1. ログモード

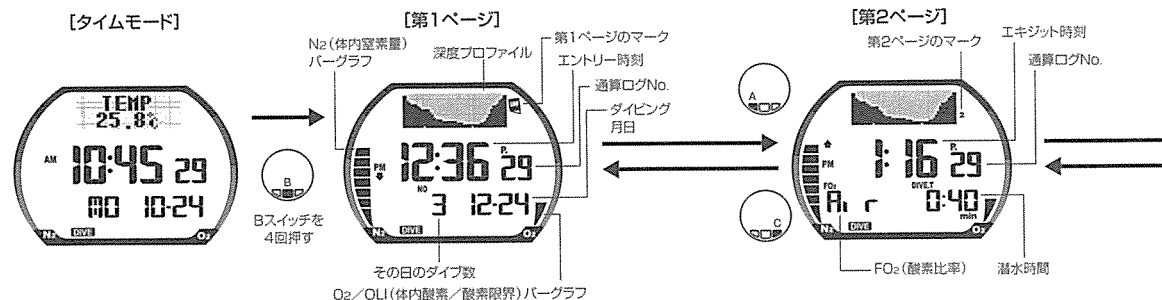
- 1-1. 3ページ表示
- 1-2. ログに残る警告

1. ログモード

タイムモードからBスイッチを4回押すと、ログモードに移行し、1ダイブ3ページから構成されたログの最初ページ（第1ページ）を表示します。

1-1. 3ページ表示

- 1ダイブにつき第1～第3までの3ページ構成でログを表示します。
- 第1ページではダイビング月日やエントリー時刻、第2ページではエキジット時刻や潜水時間、第3ページでは最大深度や平均深度などが表示されます。



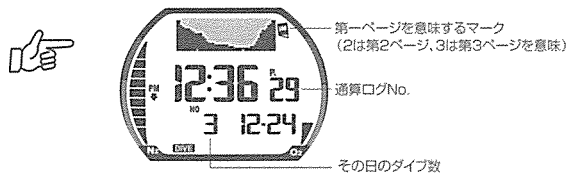
タイムモードからBスイッチを4回押し、ログモードに移動します。

- 第1ページが表示されます。
- 画面は通算ダイブログ29本。12月24日の3本目のダイビングで12時36分にエントリーしたことを示します。ダイビング終了後のN₂ (体内窒素量) レベルは7です。

- Aスイッチを押し、第2ページへ。
- 画面は、エキジット時刻午後1時16分、AIR (酸素比率21%:圧縮空気) を使用、潜水時間40分を示します。

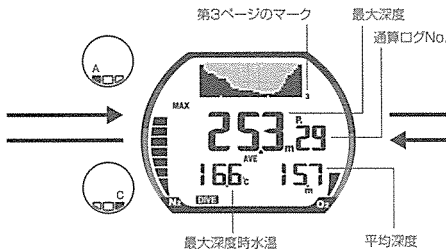
[ログの上手な探し方]

次の3つのマークや表示が、ログを探すポイントになります。

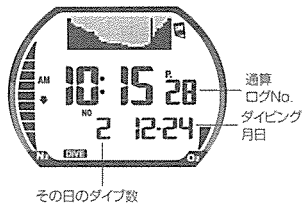


[第3ページ]

第3ページのマーク



[ひとつ前のダイビングの 第1ページ]



- Aスイッチを押し、第3ページへ。
- 画面は最大深度25.3m、最大深度時の水温が16.6℃、平均深度が15.7mを示します。

- Aスイッチを押すと、1つ前のダイビングの第1ページが表示されます。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

[表示の意味]

- 月日 : そのログのダイビング月日
- NO : その日のダイブ数
- ↑ ↓ : エントリー時刻とエキジット時刻を意味
- N₂ (体内窒素量) バーグラフ : そのダイビング終了時の体内窒素量
- O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ : そのダイビング終了時の体内酸素量
- P. : 通算ダイブログページのNo.。数値が高いほど新しいデータです
- 📄/2/3 : 何番目のページかを意味。📄は第1ページ、2は第2ページ、3は第3ページを意味。
- FO₂ : 使用したGasの酸素比率。Air (酸素比率21% : 圧縮空気) ~99%
- DIVE.T : 潜水時間
- °C : 水温。最大深度での水温を表示
- AVE : そのダイビングでの平均深度を表示
- MAX : そのダイビングでの最大深度を表示



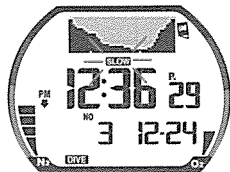
- 本製品はDIVEまたはGAGEモード時深度1.2m以上、3分以上のダイビングを1本のダイビングと見なします。
- ダイビングのたびに連続してデータを保存します。ダイブコンピュータ本体には最大60ダイブまでログデータを保持できます。
 - ・DIVEモード+GAGEモード=最大60ダイブまで。プロフィールタイム30秒の場合1ダイブ最大59分まで (プロフィールタイムを10秒にすると、約1/3になります)。
- メモリがフルになると、古いダイブログから順に消去していきます。

1-2. ログに残る警告

ログにはそのダイビングで発せられた以下の警告が残ります。

そのログ第1～第3のすべての画面で、警告が表示されます。

〔浮上スピード警告〕



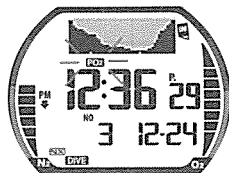
深度に応じた安全な浮上スピードを超える場合に浮上スピード警告が表示されますが、最初の浮上スピード警告後6秒以内に再度この警告が発せられた場合、SLOWマークが点滅します。

〔減圧ダイビング警告〕



無減圧限界時間を超え、減圧潜水になったダイビングのログには、DECOマークが点灯します。

〔PO₂ (酸素分圧) 警告〕



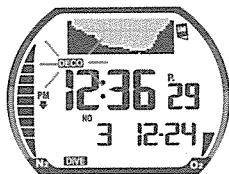
PO₂は設定したFO₂（酸素比率）と現在深度に基づいて決定されます。PO₂が1.6を超えている場合、PO₂警告が発せられた時に、ダイブログに記録されます。

〔O₂/OLI (体内酸素／酸素限界) 警告〕



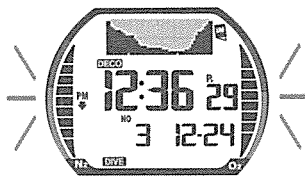
O₂/OLI (体内酸素／酸素限界) のバーグラフが8ブロックに達すると、ダイブログに記録されます。

[減圧停止指示違反警告]



減圧ダイビングの際、一度でも減圧停止深度表示よりも浅い深度へ移動すると、減圧停止指示違反となり、ログにはDECOマークが点滅します。なお、減圧停止を無視して浮上し、ロック状態になった場合は、48時間経過するまでN₂（体内窒素）バーグラフが9ブロック全点灯し、DECOマークが点滅します。

[計測範囲外警告]



計測範囲外のダイビングを行った場合、計測範囲外違反を記録し、ログでは全表示が点滅します。



- 警告内容の詳細はP89～をご覧ください。
- EANxを使用したダイビングのログに残る警告はP100～をご覧ください。

VII. プロファイルモード／ ヒストリーモード

【詳細な深度変化を見る／ダイビングの履歴を知る】

1. プロファイルモード
 - 1-1. プロファイルモードとは
 - 1-2. プロファイルの選び方
2. ヒストリーモード

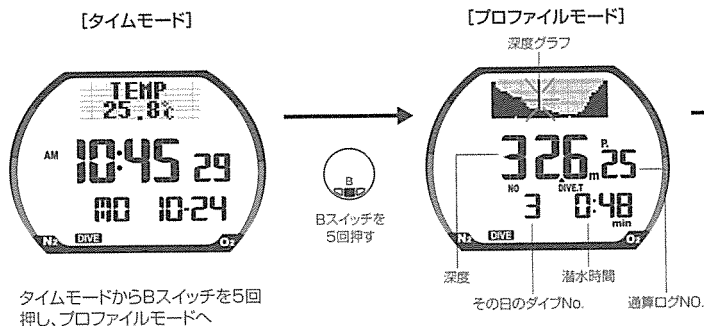
1. プロファイルモード

本製品に記録されているダイビングの潜水時間の経過にともなう、深度軌跡をグラフ表示で見ることができる機能です。

1-1. プロファイルモードとは

選択したダイブログ(最大60ログ)の、潜水時間が30秒間隔(初期設定値)の深度が、グラフと数値で約2秒おきに画面に自動表示されます。

※プロファイルタイムを10秒に設定することも可能です。プロファイルタイムを10秒に設定すると、記録可能なログ本数が約1/3になり、バッテリーの消耗にもかなり影響します。



一番新しいダイビングのプロファイル画面が表示されます。
P.25から、ログに記録されている25本目のダイビングとわかります。同日の3本目、潜水時間48分のダイビングを表示しています。そして潜水時間30秒間隔の深度が、潜水時間と共に表示され、ダイビングが終了するまで自動表示されます。テキストウィンドウにはそのダイビングの深度グラフが表示されます。

1-2. プロファイルの選び方

常に一番新しいダイビングのプロファイルデータを表示しますが、AスイッチとCスイッチで、他のダイビングのプロファイルを表示できます

- Aスイッチを押す………1ダイブ前のプロファイルを表示
- Cスイッチを押す………次のプロファイルを表示。最後のログの場合、次のプロファイルは再び最新のプロファイル(P.1)を表示します。



- プロファイル表示が終了し、3分間経過するとタイムモードに戻ります。
- 特定のプロファイルを見るには、通算ログNO.「P.」とその日のダイブ数から一致するデータを探します。

【表示の意味】

- 深度グラフ : そのダイビングの深度の軌跡をグラフ表示
 深度 : 深度グラフの点滅時の深度
 潜水時間 : 深度グラフの点滅時の潜水時間

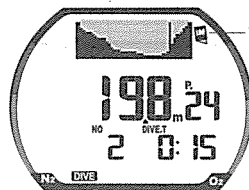


Aスイッチを押す



ダイビング中にCスイッチを長押しすると、その深度がブックマークされます。右図のように、ブックマークされたポイントで が点灯します。

1.2 [次のダイビングのプロファイル画面に移動]



—ブックマーク時に点灯

- Aスイッチを押すたびに、1つ前のダイブのプロファイルを表示します。図ではP.24が表示され、1つ前のダイビングというのがわかります。1つ後のプロファイルを表示する場合は、Cスイッチを押します。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。

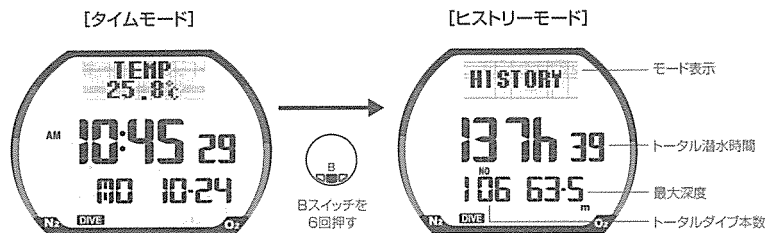


Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

2. ヒストリーモード

ヒストリーはその時までに、本体に記録されたダイビングの合計時間とダイビング本数、最大深度を自動累計または記録したものです。

トータル潜水時間と、その左下にトータルダイブ本数、右下にそれまでに記録した最大深度を表示します。
このヒストリーモードは、DIVE/GAGEモードで記録したヒストリーです。



タイムモードからBスイッチを6回押し、ヒストリーモードへ移動します。

- トータル潜水時間137時間39分、トータルダイビング本数106本、これまでの最大深度63.5mを示しています。
- ヒストリーモードからBスイッチを3回押すとタイムモードへ戻ります。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。



Bスイッチを長押しすると、タイムモード・メイン画面へ戻ります。

[ヒストリーモードの記録範囲]

潜水時間 : 999時間59分

ダイブ本数 : 9,999本

最大深度 : 99.9m



- 3分経過すると自動的にタイムモードへ戻ります。
- 本製品は、深度1.2m、3分以上のダイビングを1本のダイビングとみなします。
- バッテリー交換等でシステムリセットを行うと、日時やダイブセットなどは初期設定が必要ですが、その時までのヒストリー、プロフィール、ログの記録は影響を受けません。

VIII. PC (Windows) とのデータ転送

[PCヘダイブデータを転送する／テキストウィンドウを作成する]

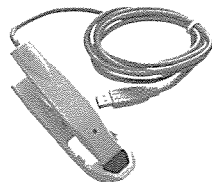
1. PC (Windows) ヘデータ転送をするための、オプション
 - 1-1. PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）
 - 1-2. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」
2. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で、できること
 - 2-1. ダイブデータの保存、管理、閲覧
 - 2-2. ユーザーテキストの文言作成
3. PC (Windows) とのデータ転送のやり方
 - 3-1. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」を立ち上げておく
 - 3-2. PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）をPCに接続
 - 3-3. 本製品をPC転送モードにする
 - 3-4. 本製品をPCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）にセット
 - 3-5. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」にデータを転送する

1. PC (Windows) ヘデータ転送をするための、オプション

- 本製品は、PC (Windows) とデータをやりとりできる、PC転送モードを備えています。
- PCヘデータを転送しデータをやりとりするために、PCインターフェイスユニット (センサー専用・別売) と、専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」(SCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトからダウンロード可能) が、本製品以外に必要です。

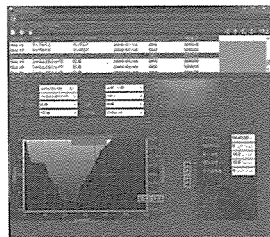
1-1. PCインターフェイスユニット (センサー専用・別売)

- PCヘデータを転送する、インターフェイスです。
- USBで、PC(Windows)と接続します。
- Windowsの対応環境、動作環境等についてはSCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトをご覧ください。



1-2. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」

- SCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトからダウンロードできます。
- データを転送するためには、あらかじめPCにインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法やソフトウェアのバージョンアップ等の情報については、SCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトをご覧ください。
- Windowsの対応環境、動作環境等についてはSCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトをご覧ください。



2.専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で、できること

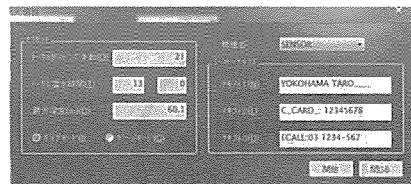
2-1.ダイブデータの保存、管理、閲覧

- ダイブデータの保存、管理、閲覧をスムーズに行うことができます。
- ダイビング地などの潜水情報、ギア情報、コメントを入力できます。
- 詳細なダイブログ情報、深度プロフィールを知ることができます。
- Dive LogBookの詳細は、Dive LogBookのヘルプをご覧ください。



2-2.ユーザーテキストの文言作成

- 最大3ページのユーザーテキストを作成できます。
- ①専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」を立ち上げ、PCインターフェイスユニットで本製品とPCを接続します。(P68からの「3.PC (Windows) とのデータ転送のやり方」を参照)
- ②Dive LogBookの、メインメニューの「ツール-テキストウィンドウを作成」を選択します。
- ③DC情報のダイアログで、「SENSOR」が選択されていることを確認します。そしてユーザーテキストを入力します。
※入力文字種は、英語大文字、半角数字、一部の記号です。1ページに最大8文字×2行を入力できます。
- ④「開始」をクリックし、本製品へユーザーテキストを転送します。
※本製品がPC転送モードであることを確認して下さい。



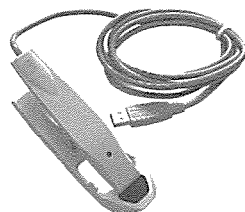
3. PC (Windows) とのデータ転送のやり方

3-1. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」を立ち上げておく

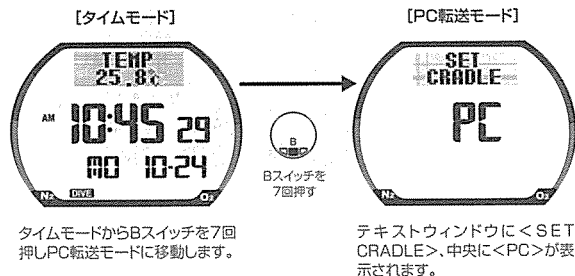
PCの専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」を立ち上げておきます。

3-2. PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）をPCに接続

PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）とPCをUSBで接続します。



3-3. 本製品をPC転送モードにする

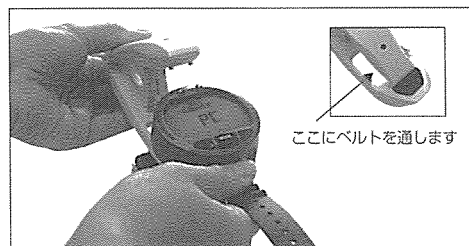


- Bスイッチを2回あるいはBスイッチの長押しでタイムモードに戻ります。
- PC転送モード時は、濡れた指で同時にダイブスイッチをさわってもタイムモードには戻りません。

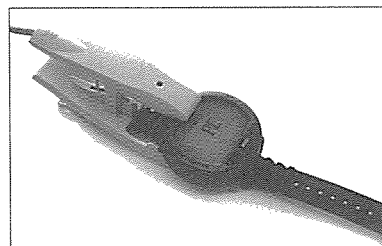


3-4. 本製品をPCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）にセット

本製品をPCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）にセットします。



- ①本製品の上部（金具のある方）のベルトを、PCインターフェイスユニット下側に大きく四角く開いたベルト通しに通します。
- ②本製品の水検知スイッチと、PCインターフェイスユニットの凸部分がきちんと接触するようにセットします。



そのまま静かに置きます。

※本製品のディスプレイに何も表示されていない場合は、再度PC転送モードにして下さい。その場合、必ず水検知スイッチが、凸部分にきちんと接触しているか確認してください。



【PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）のドライバのインストール】

専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」をインストールした時、PCインターフェイスユニット（センサー専用・別売）のドライバもインストールしなくてはなりません。インストール方法はSCUBAPRO UWATEC JAPANのWebサイトをご覧ください。



- 水面休憩時間が10分未満やログデータが無い場合はPC転送モードに移行しません。
- ダイビングデータの転送を行う前に、専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」をPCにインストールしておかなくてはなりません。

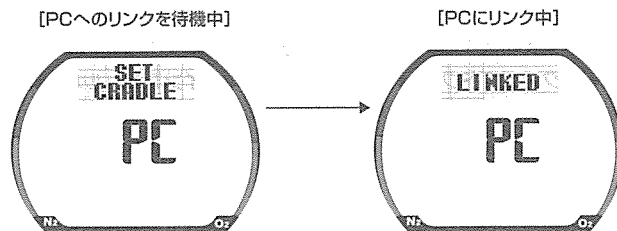
3-5. 専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」にデータを転送する

- ①専用ログブック・ソフトウェア「Dive Log Book」の、メインメニューの「ツール・データ取り込み」を選択します。
- ②機種選択ダイアログで、機種名「SENSOR」を選択します。
- ③本製品がPC転送モードになっていること、および接続を確認し、「OK」をクリックします。
- ④転送が開始され、すべてのデータ転送が完了した時に終了します。
- ⑤本製品を専用クレードルからはずします。



●ご購入時、本製品にはログデータ等の記録は残っていません。本製品使用後でないとPCへの転送は不可能です。

データ転送時、本製品のテキストウィンドウ表示が次のように切り替わります。



IX. タイムセットモード

[現在時刻／12時間・24時間表示]

1. タイムセットモードとは
2. 各種設定方法

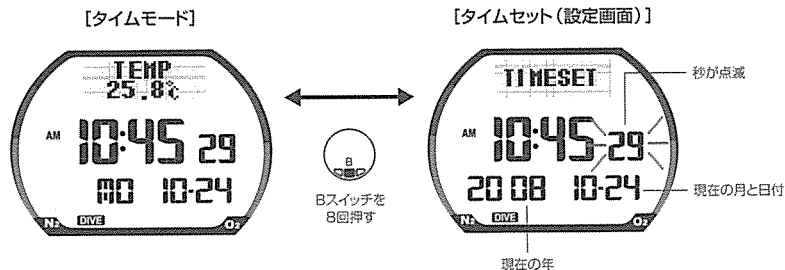
1. タイムセットモードとは

ウォッチに関する様々な設定をするモードです。

各設定内の操作

Aスイッチ：選択

Cスイッチ：確定



[タイムセットで、設定できること]

- タイムセットでは、Aスイッチを押して移動しながら、以下のようにウォッチ機能に関する様々な設定ができます。
- P74から以下の順を追いながら、各設定方法を説明します。



秒 → 分 → 時 → 年 → 月 → 日 → 12時間 / 24時間表示



- タイムセットのまま何も行わず2～3分間経過すると、タイムモードに戻ります。
- 水面休憩時間が10分以上経過しないと、タイムセットへは移行できません。



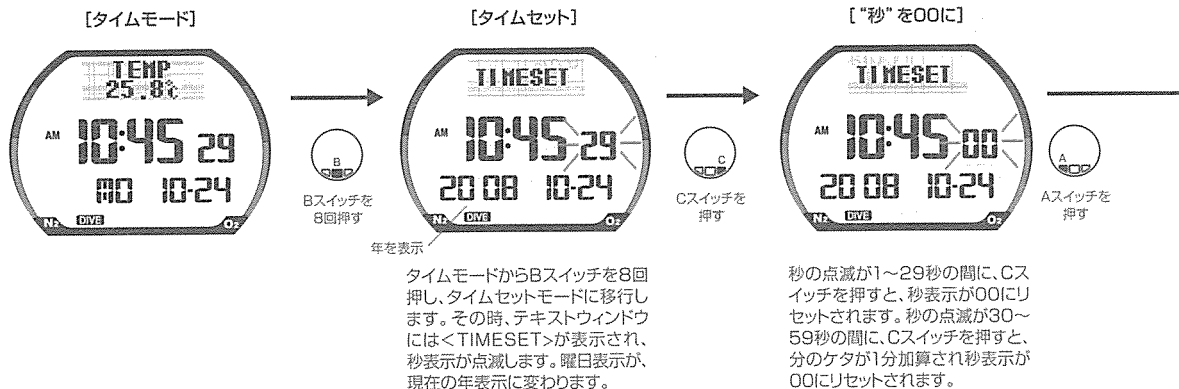
- タイムモードからタイムセットに移行すると、曜日表示が年号表示に切り替わります。
- 2008年から2099年12月31日まで、曜日を自動的に修正する完全自動カレンダーを搭載しています。曜日の設定は必要ありません。



- 年号が正しければ、月日を設定後、自動的に曜日が表示されます。万一月日と曜日が合致していない場合は、年号が間違っている可能性があります。年号をチェックしてください。
- 初期設定は、2008年1月1日AM12:00です。

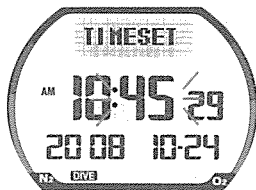
2. 各種設定方法

(現在時刻／年・月日／12時間・24時間表示)



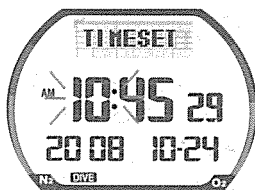
秒のリセットは、月差で生じる秒単位の誤差を、時報などに合わせ調整する時に使用すると便利です。

["分"を設定]



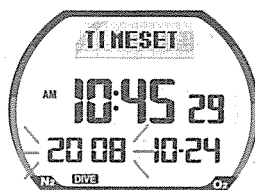
"分" 設定に移動します。Cスイッチで分表示が加算されます(UP)。

["時"を設定]



"時" 設定に移動します。Cスイッチで時表示が加算されます(UP)。

["年"を設定]



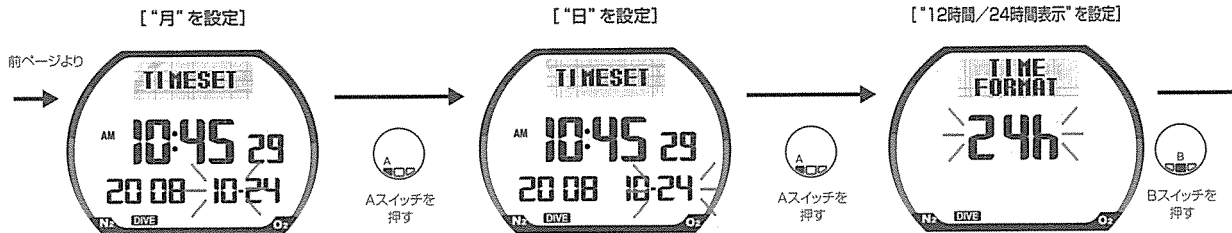
"年" 設定に移動します。Cスイッチで年表示が加算されます(UP)。

次ページへ

【スイッチ操作のポイント】



- Cスイッチを押す……………点減している表示の値がUP／押し続けると早送り
- 修正後、Aスイッチを押す……………次の表示に移動
- 修正後、Bスイッチを長押し……………その場で、タイムモードに戻る



“月”設定に移動します。Cスイッチで月表示が加算されます(UP)。

“日”設定に移動します。Cスイッチで日表示が加算されます(UP)。

- “12時間/24時間表示”設定に移動します。テキストウィンドウには<TIME FORMAT>を表示します。
- 時刻表示を、Cスイッチを押し、12時間表示と24時間表示に切り替えることができます。
- 12時間表示に設定すると、午前/午後を表す<AM/PMマーク>が表示されます。

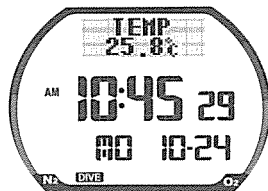
【スイッチ操作のポイント】

- Cスイッチを押す……点滅している表示の値がUP/押し続けると早送り
- 修正後、Aスイッチを押す……次の表示に移動
- 修正後、Bスイッチを長押し……その場で、タイムモードに戻る



- タイムセットで12時間/24時間表示を切り替えると、ダイブモード、プロフィールモード、ログモードでの時刻表示も連動して切り替わります。
- 本製品の初期設定は12時間表示です。

【タイムモード】



- 設定後、Bスイッチを押すと、タイムモードへ戻ります。
- 何の操作もしないと、3分後には自動的にタイムモード・メイン画面に戻ります。

X. ダイブモード

【ダイビング中の表示】

1. ダイビング時の表示 (ダイブモード)
2. ダイビング中に、他の画面を表示させる
3. メイン画面とサブ画面
4. ブックマーク
5. セイフティストップ
6. 減圧ダイビング
 - 6-1. 減圧ダイビング時の表示
 - 6-2. N_2 (体内窒素量) バーグラフ活用法
7. ディープストップ時の表示
8. ダイビング中の警告
 - 8-1. 浮上スピード警告
 - 8-2. 無減圧限界時間警告
 - 8-3. 減圧ダイビング警告
 - 8-4. 減圧停止指示違反警告
 - 8-5. 計測範囲外警告
9. 水面休息時の表示

1. ダイビング時の表示 (ダイブモード)

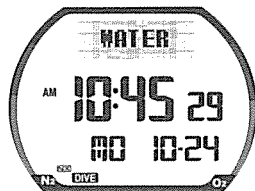
スキューバダイビング時のモードです。

- 本製品は水を感知すると自動的にダイブモードに移行し、重要な情報を表示します。
- 水中でAスイッチを押すと、2つのサブ画面で追加的な情報を表示します。
- 初期の設定はAIR (酸素比率21%：圧縮空気) ですが、EANx / TECダイビング時には、PO₂ (酸素分圧)およびFO₂ (酸素比率) の設定を行います。



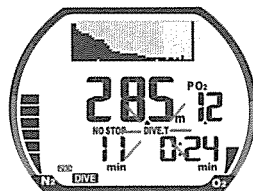
- FO₂ (酸素比率) が22%以上のEANx / TECダイビングでの説明はP95～をご覧ください。

[深度1.2m未満の表示]



水に入るとテキストウィンドウに<WATER>と表示し、スタンバイモードに入ります。

[深度1.2m以上 (無減圧ダイビング時) の表示]



深度が1.2mより深くなると、ダイブモードへ入ります。



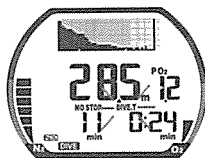
- ダイビング中にCスイッチを長押しするとその深度がブックマークされ、プロフィールモードで設定した深度に、 アイコンが表示されます。PC上の専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で詳しく確認できます。
- タンクGAS交換時にはブックマークできません。

2. ダイビング中に、他の画面を表示させる

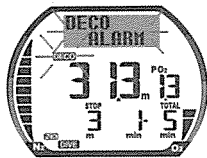
ダイビング中に、スイッチ操作で2つのサブ画面またはコンパスを表示できます。

【ダイビング時の表示】

無減圧ダイビング時の表示



減圧ダイビング時の表示

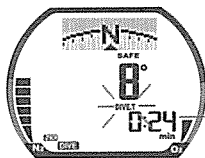


※Cスイッチを長押しすると、ブックマークできます。



Cスイッチを押す

【コンパス】



潜水時間／深度

Aスイッチ長押し：方位角度をマーキング

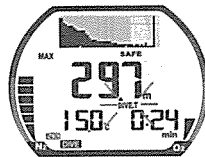
Bスイッチ：潜水時間／深度に表示を切り替え

【サブ画面（無減圧ダイビング時）】

サブ画面A



サブ画面B



Aスイッチを押している間、2秒ごとに画面が切り替わる
※詳細はP82

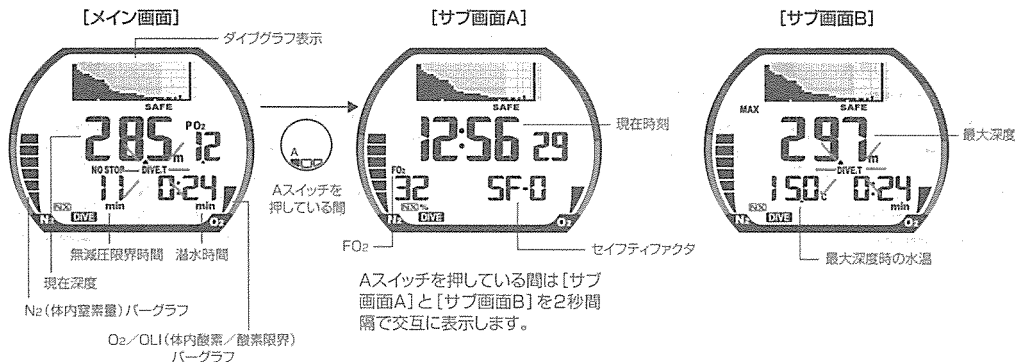


Aスイッチを
押している間

3. メイン画面とサブ画面

水中ではメイン画面の他に2つのサブ画面（A、B）を表示できます。

- メイン画面表示時にAスイッチを押し続けると、押している間は2秒間隔でAとBが自動的に切り替わり表示されます。

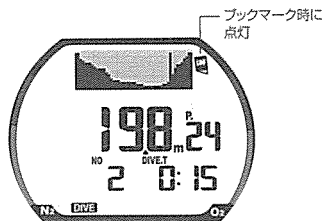


【表示の意味】

- ダイブグラフ表示 : ダイビング中、深度変化をグラフで表示。
- N₂（体内窒素量）バーグラフ : 現在の体内窒素量を9段階で表すバーグラフ。
- 現在深度 : 現在の深度。深度1.2mから10cm単位で表示します。
- NO STOP : 無減圧限界時間。現在深度に無減圧のまま留まれる時間を分単位で表示します。
- DIVE.T : 潜水時間を分単位で表示。深度1.2mから計測を開始。深度1.2m以浅で終了。ダイビング中、DIVE.Tマークは点滅し続けます。
- PO₂ : 酸素分圧=Pressure of O₂。1.0～1.6の間で0.1単位で設定可能。
- FO₂ : 酸素比率=Fraction of O₂。Air（酸素比率21%：圧縮空気）～99%で1%単位で設定可能。
- 現在時刻 : 現在時刻を時分単位で表示します。
- SF : セイフティファクタ。減圧スケジュールを保守的にシフトします（詳しくはP45をご覧ください）。
- MAX : 最大深度=現在までで一番深かった時点の深度を10cm単位で表示。
- 水温 : 最大深度時の水温を表示

4. ブックマーク

ダイビング中にCスイッチを長押しするとその深度がブックマークされ、プロフィールモードで、ブックマークをつけた深度にアイコンが表示されます。PC上の専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で詳しく確認できます。

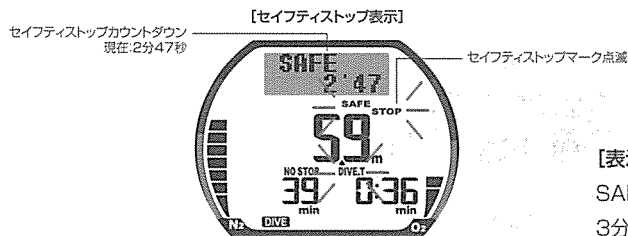


●タンクGAS交換時にはブックマークできません。

5. セイフティストップ

セイフティストップ（安全停止）をうながす機能です。

深度10m以上のダイビングを行い、無減圧ダイビングで浮上を始めると、深度6mからセイフティストップを表示します。セイフティストップは3分からカウントダウンを開始し、テキストウィンドウに表示します。



【表示の意味】

SAFE STOP : セイフティストップ=安全停止。

3分から0分まで1秒単位でカウントダウンします。



- セイフティストップ中に、再び深度6.1m以上に潜降すると、カウントダウンは一時中止し無限圧限界時間を表示します。カウントダウン値は保持され、再度深度6mより浅くなるとカウントダウンを再開します。
- 深度10m以深に潜降すると、計測中のカウントダウンの値はリセットされます。

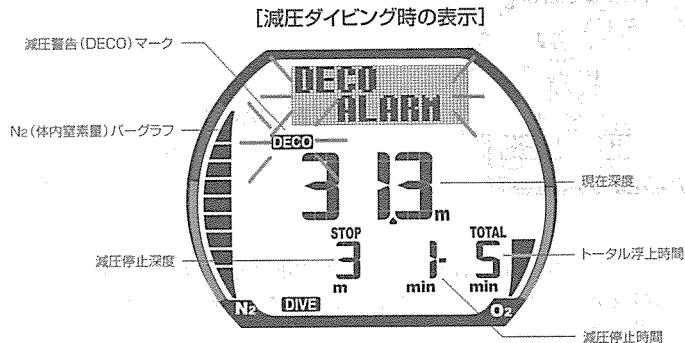


- セイフティストップ機能は、減圧停止指示を示すものではありません。ダイバーの安全に対する判断で実行してください。セイフティストップを行わない場合でも、ダイブコンピュータは警告等を発せず、ログへの記録もされません。
- セイフティストップ終了後も、速度に注意して浮上してください。

6. 減圧ダイビング

6-1. 減圧ダイビング時の表示

ダイビング中にN₂（体内窒素量）バークラフの9ブロックのすべてが点灯すると、無減圧限界時間を超えた減圧ダイビングとなります。必ず減圧停止深度まで適切な浮上スピードで浮上し、指示された深度で指示された減圧停止時間の減圧停止を行ってください。



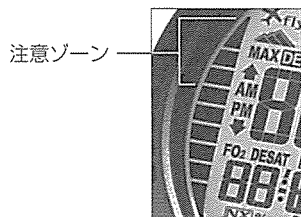
[表示の意味]

- DECO : Decompressionの略。減圧ダイビング警告や減圧停止指示違反警告時に点滅表示。
- N₂ (体内窒素量) バークラフ : 体内窒素量を9段階で表すバークラフ。
- STOP : 減圧停止すべき深度と時間を表します。
- 減圧停止深度 : 減圧停止すべき深度で、ダイビング状況に応じて演算されます。
- 減圧停止時間 : 減圧停止深度に停止する時間をダイビング状況に応じて演算。停止を行うことでカウントダウンします。

- トータル浮上時間 : 減圧停止時間を含め、適切な浮上スピードで現在深度から水面まで浮上するのに必要な時間を分で表示します。
- 現在深度 : 現在の深度。深度1.2mから10cm単位で表示します。

6-2. N₂（体内窒素量）バーグラフ活用法

9ブロックからなるN₂（体内窒素量）バーグラフの左すみは緑から始まり、注意ゾーンを赤で示しています。体内窒素量が7～9ブロックの注意ゾーンに入らないようにすれば無減圧ダイビングを継続できます。入った場合は、浅い方へ移動することで、無減圧ダイビングを続けられます。



バーグラフの左側に赤で示された7～9個のブロックが「注意ゾーン」です。
このゾーンに入らないダイビングを行えば、無減圧ダイビングを継続することができます。



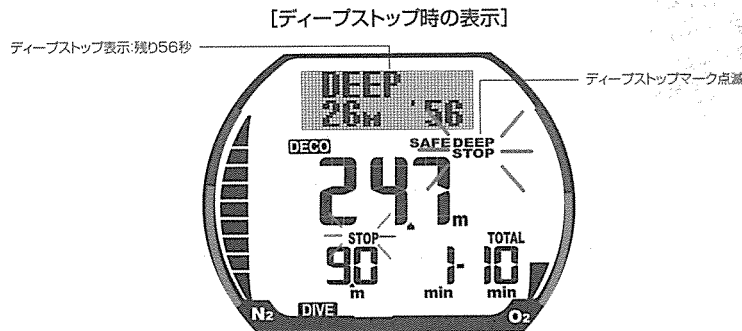
- ダイビング終了後、車などで高所に移動する場合は特に注意が必要です。N₂（体内窒素量）バーグラフが注意ゾーンに近い状態では、絶対に高所への移動は行わないでください。

7. ディープストップ時の表示

本製品はディープストップ機能を搭載しています。

ディープストップは、最深の減圧停止深度より深い深度で、1分間のストップを推奨するものです。最も深い減圧停止深度よりも深場で停止することで、より高い安全を得られるでしょう。

- ディープストップ機能は、減圧ダイビングに移行時、21m以深で段階的に表示されます。
 - 深場で停止することによって、より浅場での減圧停止時間は増加するでしょう。ディープストップによって、潜水時間も増加することを心に留めておいてください。
- ※ディープストップのON/OFFの設定はP43をご参照ください。



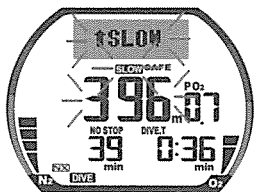
8. ダイビング中の警告

危険なダイビングを行った場合、以下のような警告機能があります。



●EANx/TECダイビング時の警告はP100～をご覧ください。

8-1. 浮上スピード警告



＜↑SLOW＞、＜SLOW＞マークと
現在深度表示が
6秒間点滅。アラーム音が3秒間鳴る

●本製品は深度に応じた適切な浮上スピードをメモリーしていますが、それを超えて浮上した場合に＜↑SLOW＞、＜SLOW＞マーク、現在深度の点滅とアラームで警告します。

●深度1.2mまで警告が続きます。

●最初の浮上スピード警告後6秒以内に再度この警告が発せられた場合、ログデータに記録されます。

浮上スピードの設定

深 度	浮上スピード
0.0～5.9m	8m／分
6.0～17.9m	12m／分
18.0m以上	16m／分

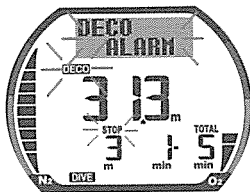
8-2. 無減圧限界時間警告



●無限圧限界時間が3分になった時、この警告が発せられます。

●無限圧限界時間警告はログデータには記録されません。

8-3. 減圧ダイビング警告

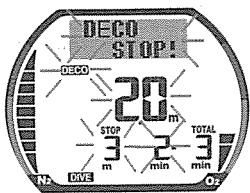


<DECO ALARM>、<DECO>、
<STOP>マークが15秒間点滅し、
アラームが3秒間隔で
2回鳴ります。

●ダイビング中にある深度で無限圧限界時間を超え、減圧停止が必要になった場合に警告します。

●<DECO ALARM>、<DECO>、<STOP>マークが15秒間点滅し、アラームが3秒間隔で2回鳴ります。その後、減圧ダイビング時の表示に変わります。減圧ダイビング警告はログデータに記録されます。

8-4. 減圧停止指示違反警告



<DECO STOP!>、<DECO>マーク、
現在深度、減圧停止深度、
減圧停止時間すべてが点滅。
3秒間のアラームが2回鳴る

●減圧停止時に、現在深度が減圧停止深度よりも浅い場合には、減圧停止指示違反警告が発せられます。

●1分ごとに鳴るアラームと、<DECO STOP!>、<DECO>マーク、現在深度、減圧停止深度、減圧停止時間がそれぞれ点滅し警告します。この時、指定された減圧停止深度に戻れば、表示点滅は止まり、戻らない場合は警告が続きます。減圧停止指示違反はログデータに記録されます。



- 警告を無視して深度1.2mより浮上して約10分経過すると、本製品はその後48時間経過するまでダイビングに使用できません。すべての表示がロックされ、演算も中止されタイムモードも使用不可能になります。ユーザーテキストを設定している場合は、最大で3画面に入力された情報のみがスクロール表示されます。48時間後、自動的にタイムモードに切り替わります。そして、この情報はログデータに記録されます。ロックされ演算が停止した後は、ログモード、プロフィールモード、PC転送モードのみ表示できます。
- 減圧指示を無視して浮上した場合、減圧症になる危険性があります。
- 減圧停止は指示通りの深度で行わなくてははいけません。指示よりも浅い深度は絶対に避けてください。海の状態により守れない場合は、1～2m深い深度で行ってください。その場合、減圧停止に要する時間は長くなります。

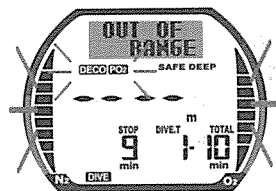


ユーザーテキスト（P67参照）には、氏名や緊急時の連絡先、血液型、CカードNo.等を専用ログブック・ソフトウェア「Dive LogBook」で入力しPCからアップロードしておくくと便利です。

8-5. 計測範囲外警告

ダイブモードで以下の5つの計測範囲外のダイビングを行った場合、すべての表示点滅と3秒間のアラームで警告します。現在深度はバー表示となります。計測範囲外警告はログデータに記録されます。

1. 深度が99.9m以上の場合。
2. 潜水時間が599分以上の場合。
3. 減圧ダイビング時に30m以深で減圧停止が必要な場合。
4. トータル浮上時間が99分を超えた場合。



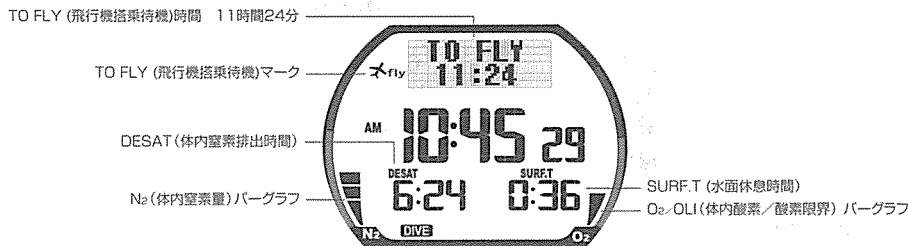
現在深度がバー表示に。
全表示が点滅。3秒間のアラームが2回鳴る



- 計測範囲外警告が出るようなダイビングは絶対にしてはいけません。
- 計測範囲外警告が出されると、他の警告が発せられていても見分けることができません。十分気をつけて浮上してください。
- 計測範囲外警告が発令された場合、危険なダイビングを行ったとみなし、水面に上がって48時間経過するまで、本製品はダイビングに使用できません。

9. 水面休息時の表示

ダイビングを終え水面休息をしている間は、テキストウィンドウに飛行機搭乗待機時間を、曜日表示に替わりDESAT (体内窒素排出時間)、現在日付表示に替わりSURF.T (水面休息時間) を表示します。



TO FLY (飛行機搭乗待機) マーク&時間:

- DESAT (体内窒素排出時間) を演算している間、タイムモードにTO FLYマークとTO FLY時間 (飛行機搭乗が可能になるまでの時間) を表示し、演算が終了すると表示はなくなります。
- DESAT (体内窒素排出時間) が12時間以内の場合: TO FLYは最大12時間からカウントダウンを始めます。
DESAT (体内窒素排出時間) が12時間を超えた場合: TO FLYはDESAT (体内窒素排出時間) と同じ時間をカウントダウンします。

高度ランクマーク:

ダイブモード、PC転送モードを除く全てのモードで高度を10分ごとに自動計測し、次表の高度ランクマークで表示します。高度ランクに対応する具体的な高度は次表を参照してください。

- 高度6,000m以上の場合、高度ランクマークが点滅し、高度が6,000m未満に下がるまでダイブコンピュータは使用できません。また高度6,000m以上の場合、N₂ (体内窒素量) バーグラフ、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ、およびDESAT (体内窒素排出時間) の演算は行われません。しかし水面休息時間は計測を続けています。

●6,000m以上の時に高度が変化したにもかかわらず、何らかの理由で高度計測ができない場合は、高度ランクマークが点滅します。

●高度はダイブモードとPCへの転送時を除いた、全モードで計測し、高度ランク1以上からマークを表示します。

高度ランク	マーク	高度範囲
0		0-900m
1		600-1,800m
2		1,500-2,600m
3		2,300-6,000m
エラー		6,000m以上

SURF.T (水面休息時間) :

●Surface Timeの略。水面休息時間を表示。

●水面休息時間はダイブモードで、深度1.2mより浅い深度に浮上すると、計測を開始します。浮上後10分以内に再度深度1.2m以上深く潜った場合は、同一のダイビングとして計測されます。

●水面休息時間は最大24時間計測します。水面休息時間は、時・分表示です。

N₂ (体内窒素量) バーグラフ :

●体内の窒素量を9つのブロックで表示します。このグラフについての詳細はP87を参照してください。

O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフ :

●O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) を8段階で表すバーグラフ。このグラフについての詳細はP102~を参照してください。

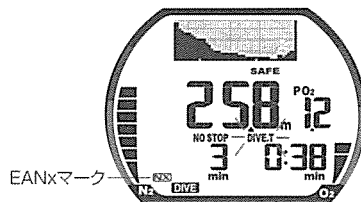
XI . EANx / TECダイビング

[EANxマーク / FO₂のデフォルト警告 /
EANx / TECダイビングの表示 / EANx / TECダイビングの警告]

1. EANxマークの表示
2. FO₂のデフォルト警告機能
3. EANx / TECダイビング時の表示 & 画面切り替え
4. タンクGas交換
5. EANx / TECダイビング時の警告
 - 5-1. PO₂ (酸素分圧) 警告
 - 5-2. O₂ / OLI (体内酸素 / 酸素限界) 警告

1. EANx マークの表示

ダイブセットモードで、PO₂（酸素分圧）の設定後、FO₂（酸素比率）を22%～99%のEANxに設定すると、タイムモード、プランモード、ダイブセットモード、ダイブモードで、**[NX]** マークが点灯します。



- AIR（酸素比率21%：圧縮空気）で潜る予定なのに、上図のように **[NX]** マークが表示されている時は、酸素比率を誤って設定しています。その場合、提供されるあらゆる情報はAIR使用時とは異なります。必ずFO₂値をAIRへと再設定しなくてはなりません。（P39～参照）。さもないと大事故につながる可能性があります。



- 出荷時のFO₂（酸素比率）はAIR（酸素比率21%：圧縮空気）に設定してあります。
- EANxでのダイビングを考えていない人は、FO₂（酸素比率）をAIR（酸素比率21%：圧縮空気）のまま変更しないでください。変更した場合は、**[NX]** マークが点灯します。

2. FO₂のデフォルト警告機能

本製品は、EAX/TECダイビングでFO₂値が未設定の場合、ダイブスイッチが水を検知するとサウンド(音)、バックライト点灯、**NX**マークやテキストウィンドウの点滅で警告を発します。



- FO₂(酸素比率)をAIR(酸素比率21%：圧縮空気)に設定している場合を除き、そのダイブ終了後水面休息時間が10分以上経った場合、またはダイビングを実行しなくても、FO₂(酸素比率)は12~13時間で再設定を求めるデフォルト(設定なし<-->表示)になります。
- 水中でFO₂(酸素比率)の設定はできません。
- FO₂(酸素比率)がデフォルト状態になると、タイムモード、ダイブプランモード、ダイブセットモード、ダイブモードで**NX**マークやテキストウィンドウが点滅します。

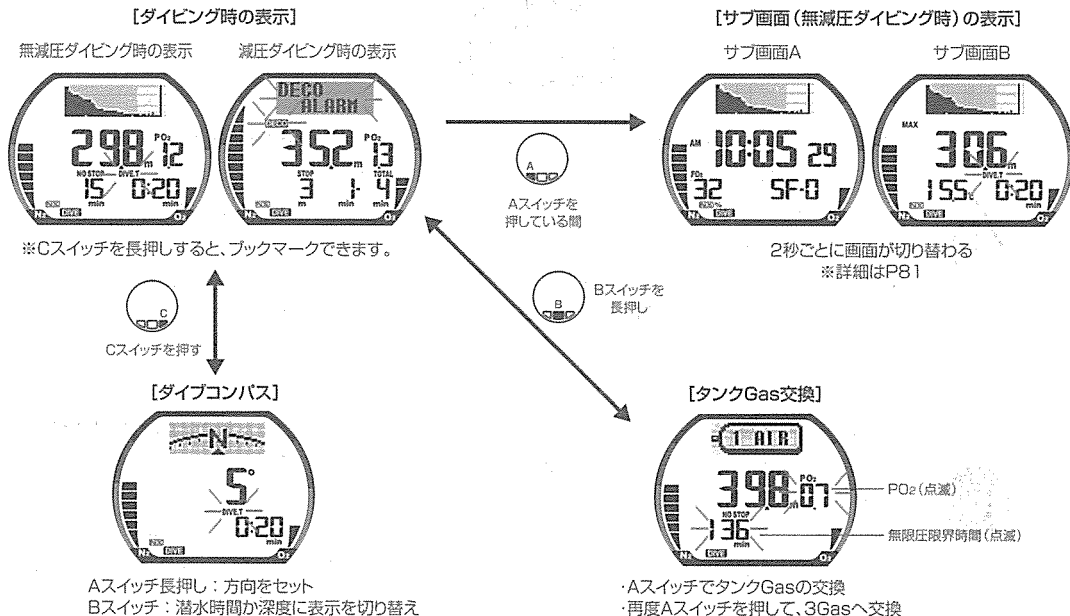


- デフォルト状態でのダイビングは非常に危険なため、絶対に避けなければなりません。ユーザが設定を忘れた場合、ダイブスイッチが水を検知すると3秒間のアラーム音が2回鳴り、**NX**マークやテキストウィンドウが点滅し警告します。FO₂が設定されていないデフォルト状態です。すぐにエキジットしFO₂を設定してください。
- 3GASでのダイビングを行う場合、事前にプランに合ったTank1~3のFO₂(酸素比率)、PO₂(酸素分圧)を設定しておかなくてはなりません。水中でTank1~3のFO₂、PO₂の設定/再設定は出来ません。

3. EANx/TECダイビング時の表示&画面切り替え

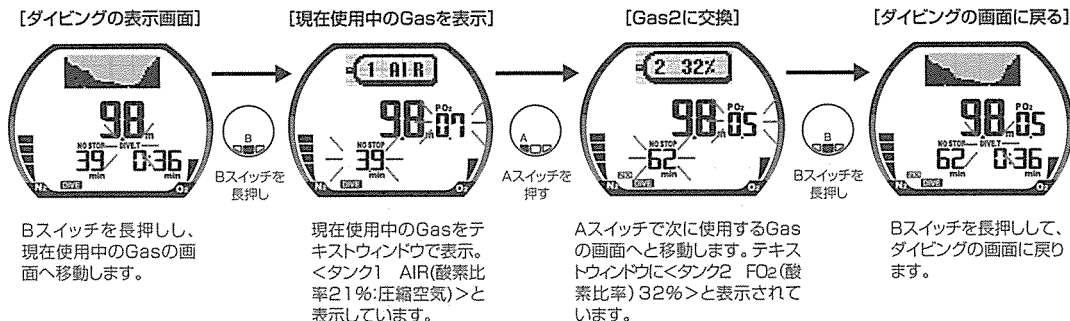
EANxを使ったダイビングでは、表示された情報を考慮するのに加え、酸素過多による酸素中毒も考慮しなければなりません。酸素の人体への影響は設定したFO₂（酸素比率）と環境圧（深度）により変化します。本製品ではO₂/OLI（体内酸素/酸素限界）バーグラフとPO₂（酸素分圧）表示により酸素の人体への影響をモニターしています。

※FO₂（酸素比率）設定は、P39～を参照ください。



4. タンクGas交換

本製品は、1ダイブで、異なったEAN xのタンク（最大3本まで）に水中で交換するダイビングに対応しています。水中で、Bスイッチを長押ししタンクGas交換画面へと移動し、Aスイッチで選択します。タンクGas交換をするためには、事前にタンク1～3のPO₂(酸素分圧)、FO₂(酸素比率)を設定しておかなければいけません。P39～参照。



- 交換予定のタンク2あるいはタンク3にPO₂(酸素分圧)警告が発令されていた場合は、タンクGas交換はできません。AスイッチでPO₂(酸素分圧)警告が発令されていない使用可能なタンクGasの画面に戻りBスイッチを長押しし確定します。P100参照。
- タンクGas交換をどのタンクと行ったかの確認は、ダイビングの表示画面でAスイッチを押してください。Aスイッチを押している間FO₂(酸素比率)が表示されるので、使用しているGasがわかります。



- タンクGas交換の機能を使うダイバーは、EAN x / TECダイビングの講習やトレーニングを受け理解していなくてはなりません。

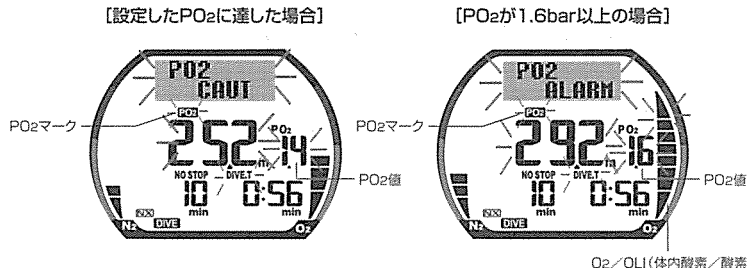
5. EANx/TECダイビング時の警告

5-1. PO₂ (酸素分圧) 警告

PO₂ (酸素分圧) 警告は、設定したFO₂ (酸素比率)とPO₂、現在深度に基づいて決定されます。PO₂値でのMOD (最大行動可能深度) が設定した値に達すると警告を発し、超えた場合はPO₂警告が出されたことをダイブログに記録します。

設定したPO₂に達した場合 : <PO₂ CAUT>、<PO₂₂の値が点滅。3秒間のアラームが2回鳴ります。

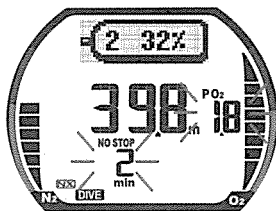
PO₂が1.6bar以上の場合 : アラームが鳴り、<PO₂ ALARM>、<PO₂₂値、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフが点滅します。



- PO₂警告が出されるようなダイビングは避けなければなりません。万一、発せられた場合は、ただちに適切な浮上スピードで浅い深度へ移動してください。
- 本製品のPO₂警告は、中枢神経系 (CNS : Central Nerve System) の急性の酸素中毒に対応するもので、肺の酸素中毒に対応するものではありません。酸素中毒の詳細については、各トレーニング団体のマニュアルあるいは、専門書を参照してください。

[タンクGAS交換によるPO₂警告]

交換予定のタンク2あるいはタンク3にPO₂(酸素分圧)警告が発せられていた場合は、タンクGas交換はできません。AスイッチでPO₂(酸素分圧)警告が発せられていない使用可能なタンクGasの画面に戻りBスイッチを長押しし確定します。



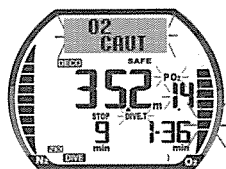
●PO₂警告はダイブログに記録され、PO₂警告マークを表示します。

5-2. O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) 警告

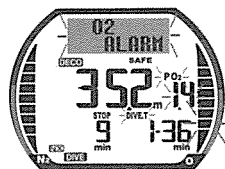
体内酸素量が増加すると、8つのブロックからなるO₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフが増加して警戒を促します。バーグラフが7か8のブロックに達すると、表示とアラームで警告します。下の2種類の警告があります。

- バーグラフが7ブロックの場合：表示とアラームで警告します。ダイブログには記録されません。
- バーグラフが8ブロックの場合：表示とアラームで警告します。バーグラフが7ブロックに下がるまで表示が点滅します。ダイブログに記録されます。

[バーグラフが7ブロックの場合]



[バーグラフが8ブロックの場合]



- O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) 警告が出されるようなダイビングは避けなければなりません。万一、発令された場合は、ただちに適切な浮上スピードで浅い深度へ移動してください。



- O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフはAIR (酸素比率21%：圧縮空気) でのダイビングでも体内酸素量を表示します。
- PO₂ (酸素分圧) 値が1.6barになった場合は、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフが8ブロックとも点滅します。
- O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフが8ブロックに達するとダイブログに記録され、O₂/OLI (体内酸素/酸素限界) バーグラフを全点滅表示します。7ブロックに減少するまで、点滅を続けます。

●本製品はEANx / TECダイビング (3Gas*を含む) に対応しています。本製品をEANx / TECダイビングに使用する場合は、酸素99%までのEANx / TECダイビングに必要な、十分なトレーニングを一般的に認められている指導団体のインストラクターから受けなくてはなりません。

・本製品はタンク内の FO_2 (酸素比率) を設定することでEANx / TECダイビングにも使用可能です。ただし、酸素99%までのEANxを使うダイビングのトレーニングを行っているダイビング指導団体による、酸素99%までのガスを使うEANx / TECダイビングのトレーニングを修了していることが条件となります。自分が受けたトレーニングの範囲内の酸素%を使うEANx / TECダイビングをしなければなりません。 PO_2 (酸素分圧)、 FO_2 (酸素比率) の設定は注意深く行って下さい。

※3GAS : 1ダイブで、異なったEANxのタンクを3本まで設定可能。



TEC (テクニカル) ダイビング : 深度40mを超えるディープダイビング、ケーブダイビング、目的に応じたGasタンク交換を行うなど、レクリエーショナルダイビングとは異なるダイビング。TEC (テクニカル) ダイビングのトレーニングを受け認定される必要があります。



EANx : Enriched Air Nitrox. エンリッチドエア・ナイトロックス。通常使用するAIR (酸素比率21%:圧縮空気) より、酸素の比率が高いGasです。本製品は酸素比率21~99%のEANxに対応しています。本書ではEANxと表示します。

XII. GAGEモードでのダイビング

【その他のダイビングスタイルのための機能】

1. GAGEモード

1-1. GAGEモードとは

1-2. GAGEモードの各種設定

1-3. GAGEモードでのダイビング

1. GAGEモード

1-1. GAGEモードとは

GAGE : GAUGEモードの略。ゲージモード時に画面にアイコンで表示。

水深の浅い洞窟で長時間のダイビングまたはリブリーザーを使用したダイビングなど、本製品をバックアップゲージとして使う場合のモードです。

- GAGEモードにセットすると、深度計測、水温計測、潜水時間計測のみ機能し、ダイブコンピュータとしての機能は作動しません。無限圧限界時間や減圧停止等について、体内窒素量や酸素限界などの演算も行われません。
- GAGEモードとして使用後、48時間が経過するまでダイブコンピュータとして機能せず、GAGEモードでのみ機能します。GAGEモードでのダイビングは、セーフティストップは作動しません。

GAGEモードの計測範囲

潜水時間	: 0~1199分
深度	: 0~99.9m
計測開始	: 深度1.2m以深
ログデータ	: ログ最大60Dive
ダイブプロフィールタイム	: 10、30秒選択可能



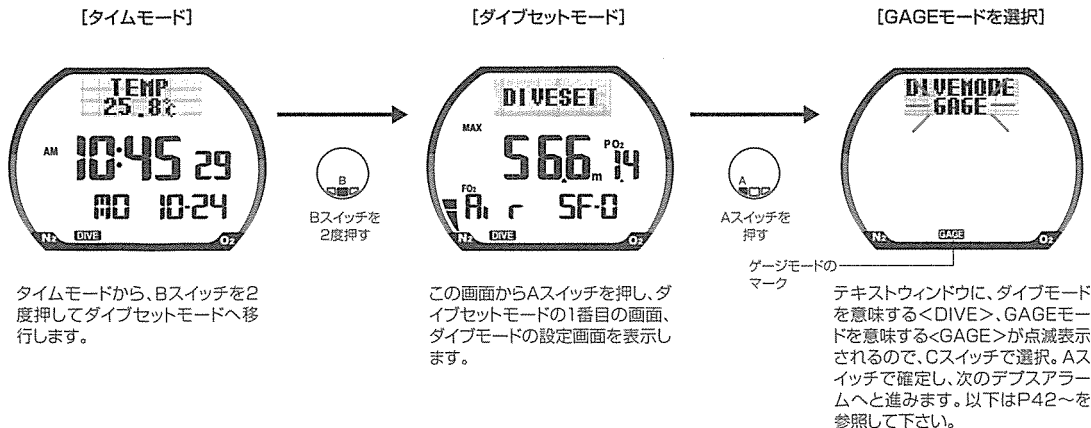
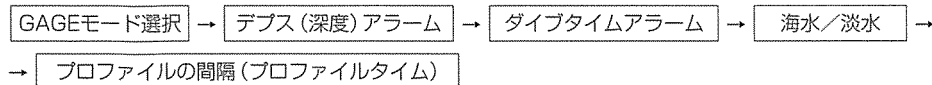
- GAGEモードでは聴覚、視覚に訴える警告メッセージ、注意メッセージは作動しません。
- 通常のダイビングではGAGEモードに設定しないでください。間違った設定や誤操作で、GAGEモードに設定されていた場合は大変危険です。重大な結果を招き、重大な障害、あるいは最悪の場合、死亡にいたることも考えられます。GAGEモードでのダイビングは自己責任で行ってください。
- GAGEモードでのダイビング後、48時間経過しなければ本製品はダイブコンピュータとして使用できません。

1-2. GAGEモードの各種設定

DESAT (体内窒素排出時間)が残っていない時に、陸上でGAGEモードの設定が可能です。GAGEモードで使用後、48時間が経たないとDIVEモードでは使用できません。

ダイブセットモードでGAGEモードを選択後、Aスイッチを押すと、以下のように各種設定画面が表示され設定を行うことができます。

各設定の詳細はP37～を参照してください。



1-3. GAGEモードでのダイビング

GAGEモードでは、次のような情報が表示されます。

A) メイン画面表示

[深度1.2m未満の場合]



GAGEモードのマーク

[深度1.2m以上の場合]



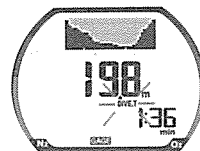
ダイブプロフィール・グラフ表示

現在深度

潜水時間

B) 2つのサブ画面表示

[メイン画面]

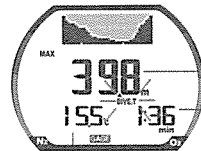


[サブ画面A]



現在時刻

[サブ画面B]



最大深度

潜水時間

水温

Aスイッチを押している間、[サブ画面A]と[サブ画面B]を2秒間隔で交互に表示します。

C) コンパスの表示



XIII. 取扱い上の注意、保証について

1. トラブルシューティング

2. 取扱い上の注意

2-1. バッテリーについて

2-2. システムリセットをかけた場合

2-3. 使用前後のお手入れ

2-4. 保管

3. 製品概要

4. 保証について

4-1. 保証とは

4-2. 保証範囲

4-3. 保証期間

5. 安全のための注意事項

1. トラブルシューティング

修理に出す前に、このトラブルシューティングを参考に点検してみましょう。

リスト内の処理をしても正常に作動しない場合や他の異常が見られる場合は、お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。

状態	原因と処理・予防
水面上でDECOマーク、減圧停止深度、減圧停止時間が点滅する	・減圧停止指示違反をしたためです。違反から10分未満であれば、再度指示された深度で減圧停止を行って下さい。 ・10分以上が経過している場合は、画面はロックされ48時間使用不可能となります。
水面上で全画面が点滅する	・計測範囲外警告が発せられています。 ・使用不可能となり48時間後、自動的に復帰します。
高度6,000m未満で、高度ランクマーク  が点滅している	・故障が考えられます。お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。 ・高度ランクの境界線にいる場合に起こります。故障ではなく問題はありません。
高度ランクが切り替わる	・極端に高温になっている場合に起こります。水につけるなどして冷やしてください。 ・上記以外の場合は故障の可能性があります。お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。
画面上に虹色が現れる	・温度差による画面の張力が原因です。故障ではなく問題はありません。
画面表示が薄い	・低温時には表示が薄くなることがありますが、故障ではありません。 ・バッテリーが寿命の可能性がありますが、バッテリー交換が必要です。

状態	原因と処理・予防
ダイブモードにならない	・減圧停止指示違反警告、計測範囲外警告が出されています。48時間後に自動的に復帰します。 ・バッテリーマークが点滅している場合は、ダイブモードに入りません。バッテリー交換をして下さい。 ・上記以外の場合は故障の可能性があります。お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。
ダイビング終了後、サーフェイスモード(水面休息時の表示)にならない	・ダイブスイッチが濡れているためです。乾いた柔らかい布などで拭いてください。 ・減圧停止を無視して浮上し10分経過したため、画面のロックが考えられます。
ダイビングをしていないのに、タイムモードになり体内窒素排出時間が表示される	・高度ランクに変化があり、N₂(体内窒素量)の演算が行われたためです。この情報をあなたのダイブプランに利用してください。
スイッチ操作をしてもモードが切り替えられない	・ダイビング終了後、ダイブスイッチが濡れているためです。良く拭いてから操作してください。 ・上記以外の場合は故障の可能性があります。お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。
プランモードで無減圧限界時間がバー表示になる	・高度ランクが6,000m以上になり、高度ランクが点滅している場合に起こります。高度が下がれば復帰します。 ・FO₂がデフォルト(設定なし)のままか、PO₂が1.6bar以上の場合です。 ・深度が、ダイブセットモードで設定したPO₂での深度を超えています。

状態	原因と処理・予防
大気中でダイブモードになった	離陸や着陸時の急激な気圧変化が生じている時にダイブスイッチに触れたり、ダイブスイッチが濡れてしまった時に起こります。離発着時にはダイブスイッチに触れないようにして下さい。
飛行機搭乗によって、DESAT（体内窒素排出時間）が表示された	機内の圧力は、高度ランク2と同等レベルです。そこでダイブコンピュータはN ₂ (体内窒素量)を演算し表示したのです。

2. 取扱い上の注意

2-1. バッテリーについて



- バッテリーマークが点滅している場合は、ダイブモードにはなりません。お買い上げ店または SCUBAPRO eサポートTECセンターまでバッテリー交換に出してください。
- バッテリー交換後は、システムリセットを行わなくてはなりません。
- ユーザーご自身でバッテリー交換を行う場合は注意を払い、何事も自己責任で行って下さい。
- バッテリーを交換する時は、使用していたOリングを廃棄し、新しいOリングに取り替えて下さい。このとき、新しいOリングに傷やヒビ、変形などが無いことを細かくチェックして下さい。OリングやOリングの溝、バッテリーキャップのゴミなどもキレイに取り除いて下さい。
- バッテリー交換は、注意深く行わなくてははいけません。バッテリーの不適切な交換などで生じた故障等に関しては、製品保証が適用されません。

2-2. システムリセットをかけた場合

バッテリー交換後システムリセットを行うと、時刻、日付等が初期設定に戻り、体内窒素量はクリアされます。カレンダー、時刻等の設定を行って下さい。

※ダイブログ、ダイブヒストリー、ダイブプロフィールはクリアされず、メモリされた値が継続します。

＜初期設定値＞

カレンダー：2008年1月1日

時刻表示：12時間表示

ダイブタイムアラーム：30分 OFF

デブスアラーム：40m OFF

FO₂（酸素比率）：Air（21%）

プロフィールタイム：30秒

セイフティファクタ：SFO

ディープストップ：ON



●重要な情報が消失する可能性があります。記録するなど、バックアップを必ず取ってください。

2-3. 使用前後のお手入れ



- ご使用前に本取扱い説明書をすべてお読みください。本書内の操作方法や警告、注意事項を守らないと、重大な障害あるいは生命に危険を及ぼす可能性があります。
- ブローガンでエアを圧力センサー部（ケース裏のリセットスイッチ（RESET）の右下）にあてると、センサーが損傷する可能性があります。水滴はタオルなどで拭き取ってください。
- アイスダイビングなどで、熱湯をかけるなど急激な温度変化を加えないでください。深度、高度ランク、水温などの計測精度が落ちたり、故障する可能性があります。

2-4. 保管

- ダイビング後、真水で本製品を洗い柔らかな布等で水気や汚れを拭き取り、濡れたものとは一緒にせず、乾燥したところに保管してください。
- 炎天下や車内で直接日光が当たり、高温になるところに放置しないでください。
- 極端な低温は避けてください。やむをえず高温・低温になってしまった場合は、常温に近い温度の水になじむまで放置してください。



- 高温、多湿での保管、放置は、圧力センサーに影響し、高度ランク、深度が実際と異なる表示をすることがあります。その場合は、水に入れるなどして、温度を下げてください。
- 高温にダイブコンピュータを放置しておくと、液晶ディスプレイが黒変しますが、温度が下がると正常に戻ります。ただし液晶画面の寿命が短くなりますので避けてください。
- 同じ標高でも、気圧変化により高度ランクが異なる場合があります。
- SCUBAPRO eサポートTECセンター以外で、絶対に圧力チャンバーテストをしないでください。チャンバーの種類によりセンサーの精度が劣化する場合があります



- 故障していると疑われる場合は絶対に使用せず、お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまで修理に出してください。
- 本製品を絶対に分解しないでください。分解した場合は保証できません。

3. 製品概要

1. サイズ

ケースボディ : 縦最大約62mm×横最大約62mm

表示部 : 左右約50mm×上下約37mm

厚さ : 中心部分約23mm

重さ : 約100g (ベルト込み)

2. 精度

時刻 : 毎月の平均誤差±約30秒

深度 : ±3%+0.5m

温度 : ±2.0℃

3. 計測範囲

深度 : 0.0～99.9 m (海水使用の場合) 計測間隔は1秒

潜水時間

ダイブモード : 0～599分

ゲージモード : 0～1199分

高度 : 0～6,000m 計測間隔は10分 (ダイブモード、PC転送モードを除く)

温度／水温 : -5 ～+45℃ 計測間隔は1秒 (Diveモードのみによる計測)

4. 動作温度／水温

-5～+40℃ (低温では、表示は多少薄暗くなります)

5. 酸素比率

FO₂ (酸素比率) : AIR (21% : 圧縮空気) ~ 99% 設定間隔 : 1%

6. 防水性能

防水深度 : 100m

7. バッテリーの寿命

電池 : 約1.5年もしくは150本のダイビング

注) 1ダイビングを約1時間とした場合。バックライト、アラームの使用状況により異なります。(使用バッテリー : CR2032)

バッテリーの品質差によりバッテリー寿命などに影響を及ぼしますので、国産有名メーカーのCR2032をお使いになることをお勧めします。ユーザーご自身でバッテリー交換を行う場合は、注意を払い何事も自己責任で行って下さい。

4. 保証について

4-1. 保証とは

SCUBAPRO UWATEC JAPAN 正規製品取扱い店あるいはSCUBAPRO UWATEC JAPANから発売された製品に限り保証されます。本製品の保証規約は付属の保証書をご覧ください。

4-2. 保証範囲

スキューバプロ・アジア(株)で改善される製造上のミスや材料欠陥に関しては、追跡調査を行います。クレーム事項を審査し、いかなる故障の修理方法も決定します。その場合、本製品の修理は無料で行われ、故障パーツの交換、本製品そのものの交換はそれぞれ保証でカバーされます。

外装部品の破損、ネジなどの欠落などは保証の対象外です。

[以下の事項に起因する故障は保証の対象外です]

- 外部からの影響、たとえば運搬中の損傷、落下や衝撃による故障、気温などの影響、その他の自然現象による故障。
- SCUBAPRO UWATEC JAPAN 以外での修理やサービスに起因する故障。

4-3. 保証期間

- 本製品が万一ご購入日より満1年以内に、当社の責任とみられる故障を生じた場合、無料修理または交換いたします。

ただし、保証の登録をしていない場合は、保証の対象になりません。

- 本製品の保証期間は1年です。
- 期間中の修理またはお取り替えは、保証期間の延長にはなりません。

修理またはクレーム時には、日付が入った本製品の保証書とともに、お買い上げ店またはSCUBAPRO eサポートTECセンターまでお送りください。

本製品の購入者とユーザーは、本製品使用中または後に起こる事故や故障、破損などに対し、スキューバプロ・アジア(株)および、販売店に対する責任追求権を破棄するものとします。

5. 安全のための注意事項

スキューバダイビングは危険を伴うスポーツです。EAN x / TECダイビングを行うダイバーも含め、ダイビング認定書であるCカードを取得したダイバーとして、以下の常識を守らなくてはなりません。

これらを守らない場合、事故や生命に危険を及ぼすことになります。

1. スキューバダイビングを行う場合は、必ず良好な健康状態でなくてはなりません。
2. スキューバダイビングを行う前に、飲酒や薬品などの摂取をしてはいけません。
3. スキューバダイビングを行う前には、ダイビングガイド、パディと入念なダイビング計画、打ち合わせを行い、単独でのダイビングは絶対にしてはいけません。
4. 常に自分の技量のレベルやトレーニングに合ったダイビングをしなくてはなりません。
5. ダイブテーブルおよびダイビングに関する知識は絶対に必要です。
6. 浮上速度には十分に注意を払わなければなりません。
7. ダイビング終了後の急激な高度変化、激しい運動は避けなければなりません。
8. 本製品はユーザーのダイバーとしての技術を向上させるものではありません。
9. 本製品は、レクリエーショナルダイビングから、その域を超えたTEC（テクニカル）ダイバーが使用できる機能を備えています。しかし、EAN x / TECダイビングを行うためには、EAN x / TECダイビングのトレーニングを行っているダイビング指導団体による、EAN x / TECダイビングのトレーニングを修了していることが条件となります。
10. 自分が受けたトレーニングの範囲内の酸素%を使うEAN x / TECダイビングを行わなければなりません。

本取扱い説明書の無断転載および複写を固く禁じます。

ALL RIGHTS RESERVED

©SCUBAPRO ASIA LTD 2009.5

SCUBAPRO UWATEC JAPAN

SCUBAPRO ASIA LTD.

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビル

Tel : 045-489-4800 Fax : 045-222-8195

www.scubapro.co.jp

■メンテナンス、修理等についてのお問い合わせはeサポートTECセンターへお願いします。

SCUBAPRO eサポートTECセンター

〒231-0801 神奈川県横浜市中区新山下3-9-1 ダイワコーポレーション新山下営業所内

Tel : 045-489-4801 Fax : 045-628-1541

www.eserv.jp

Dive Computer

SENSOR



■メンテナンス、修理等についてのお問い合わせは、eサポートTECセンターへお願いします。

「SCUBAPRO UWATEC JAPAN eサポートTECセンター」

〒231-0801 横浜市中区新山下3-9-1

ダイワコーポレーション新山下営業所内

Tel.045-489-4801 Fax.045-628-1541 www.eserv.jp

SCUBAPRO UWATEC JAPAN

SCUBAPRO ASIA LTD.

〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビル

Tel.045-489-4800 Fax.045-222-8195

www.scubapro.co.jp